

令和 2 年度

事業報告

公益社団法人日本歯科衛生士会

目 次

	(頁)
1 令和2年度事業計画（運営指針・重点課題）	3
2 令和2年度事業報告	5
3 会員の状況（参考資料1）	29
4 理事、監事、代議員、顧問、職員（参考資料2）	34
5 常任委員会等名簿（参考資料3）	36
6 令和2年度第5次生涯研修制度 専門研修開催状況（参考資料4）	39
7 都道府県別令和2年7月～12月のDH-KEN修了者数（参考資料5）	40
8 令和2年第5次生涯研修制度修了者数（参考資料6）	41
9 特別研修指定研修会（参考資料7）	42
10 令和2年度認定歯科衛生士登録者名簿（参考資料8）	43
11 令和2年度「地域歯科衛生活動」助成事業（参考資料9）	45
12 令和2年度日本歯科衛生士会会長表彰 受賞者（参考資料10）	46
13 令和3年度予算・制度等に関する要望について（参考資料11）	47
14 加入団体及び後援協力事業（参考資料12）	52

令和2年度事業計画

運営指針

公益社団法人日本歯科衛生士会は、47都道府県歯科衛生士会との連携協力のもと、歯科口腔保健の向上に努め、国民の健康と福祉に寄与することを目的として、次の重点課題に取り組みます。

重点課題

- 1 国民の生涯を通じた歯科口腔保健の向上に関する事
- 2 安心・安全かつ良質な歯科保健医療サービスの提供に関する事
- 3 医科歯科連携のチーム医療における歯科衛生業務の充実に関する事
- 4 在宅歯科医療の推進にともなう歯科衛生業務の充実に関する事
- 5 地域包括ケアシステムにおける多職種連携の口腔健康管理の推進に関する事
- 6 介護予防における口腔機能向上、オーラルフレイルの予防に関する事
- 7 歯科衛生の普及啓発および地域歯科衛生活動の推進に関する事
- 8 生涯研修事業の充実・推進に関する事
- 9 日本歯科衛生学会の発展・向上に関する事
- 10 歯科衛生士の人材確保・復職支援等の推進に関する事
- 11 災害に対応するための人材育成およびネットワーク等の組織づくりに関する事
- 12 組織の拡大・発展に関する事

令和2年度事業報告

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

法人の概況

1 設立年月日

昭和26年10月27日(設立)

昭和41年5月23日(社団法人認可)

平成24年4月1日(公益社団法人移行)

2 定款に定める目的

本会は、都道府県歯科衛生士会との連携のもと、歯科衛生士の資質の向上及び倫理の高揚並びに歯科衛生の実践に根ざした学術研究の振興を推進し、あわせて歯科衛生の普及啓発を図ることにより、国民の健康と福祉の増進に寄与することを目的とする。

3 定款に定める事業内容

- (1) 歯科衛生士の資質の向上及び倫理の高揚に関する事
- (2) 日本歯科衛生学会の開催等学術研究の振興に関する事
- (3) 歯科衛生の普及啓発に関する事
- (4) 歯科衛生業務の改善及び向上に関する事
- (5) 歯科衛生の国際協力に関する事
- (6) 都道府県歯科衛生士会等、関係団体との連携協力に関する事
- (7) その他本会の目的達成のために必要な事

4 行政庁に関する事項

内閣府大臣官房公益法人行政担当室

5 会員の状況

参考資料1に記載のとおり

6 事務所の所在地

東京都新宿区大久保二丁目11番19号

7 役員等に関する状況

参考資料2、参考資料3に記載のとおり

8 職員に関する事項

参考資料2に記載のとおり

事業

I 歯科衛生士の資質の向上及び倫理の高揚ならびに学術研究の振興により、歯科衛生士の人材育成を図り、国民の健康と福祉に寄与する事業（公1）

1 歯科衛生士の資質の向上及び倫理の高揚に関する事業

歯科医学・医療の進歩や歯科保健医療ニーズの変化にともなう知識・技能の習得及び医療安全等の最新情報に関する生涯研修事業の企画・運営・推進により、歯科衛生士の資質の向上及び倫理の高揚を図るとともに、特定の専門分野において水準の高い歯科衛生士を育成し、認定することにより、歯科衛生業務の実践・指導力を高め、国民の健康と福祉の増進に寄与した。

(1) 生涯研修事業

① 専門研修の企画・運営・推進

ア 基本研修

47都道府県歯科衛生士会において、専門研修（基本研修）が308回開催され、10,853名（会員10,168名、会員外685名）が受講した。

A 臨床研修コース

a 歯周治療の基本技術	36回	1,198名
b 摂食嚥下機能療法の基本技術	40回	1,461名

B リフレッシュコース（a～1, z）	98回	3,139名
---------------------	-----	--------

C 特定コース

a 歯科診療所等における医療安全管理対策	32回	1,042名
b 周術期等の口腔機能管理	14回	488名
c 在宅歯科医療の基礎	88回	3,525名

（参考資料4）

D 自己学習特別支援

新型コロナウイルス感染症により都道府県歯科衛生士会における研修会開催が困難となったため、会員の自己学習支援対策として、令和2年7月1日～12月31日の期間限定で、DH-KENのeラーニングを活用した研修支援を行い、受講修了者にはコース別に所定の単位を付与した。47都道府県歯科衛生士会からの受講者数は（延べ）9,983名であった。

（参考資料5）

【第23回感染症予防歯科衛生士講習会の開催】

日本歯科医師会・日本歯科衛生士会共催

新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を受け、中止

イ 特別研修

- ・第65回日本口腔外科学会総会・学術大会「第14回歯科衛生士研究会」の開催
(医療連携歯科衛生士委員会担当)

新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を受け、中止

上記の他、本会が主催・共催する特別研修には「日本歯科衛生学会学術大会」への参加、発表及び「日本歯科衛生学会 学会雑誌」への論文投稿等による学習を対象としている。第15回学術大会(誌上開催)の参加登録者、発表者、学会雑誌(Vol.15 No1、No2)論文投稿者の合計は785名であった。

- ・その他特別研修の指定

その他特別研修として、関連学会、関係団体等の申請に基づき 7項目を指定した。

その他特別研修による自己申請者 43名

(参考資料7)

ウ 指定研修

指定研修課程の修了者による自己申請者	10名
(内訳) 4年制大学課程卒業	2名
大学院(修士・博士)課程修了	7名
専攻科及び病院等の臨床研修課程修了	1名

エ 専門研修修了者数(令和2年12月31日現在)

- ・基本研修 838名
- ・特別研修 56名
- ・指定研修 10名 合計904名

(参考資料6)

② 認定研修(認定歯科衛生士セミナー)の実施

【日本歯科衛生士会主催】

認定研修(認定歯科衛生士セミナー)令和元年度後期日程の実施

ア 生活習慣病予防(特定保健指導-食生活改善指導担当者研修)3日間

開催形式	オンライン研修
日 程	令和3年1月9日(土)~2月20日(土)
受講料	30,000円(令和元年度に徴収)
受講者数	18名
研修内容	「健康教育」
	十文字学園女子大学人間生活学部人間福祉学科 教授 吉田 亨
	ライオン株式会社人材開発センター健康サポート室 保健師 川本 和江
	鶴見大学歯学部 教授 花田 信弘

岡山済生会総合病院 看護外来室 慢性疾患看護専門看護師	佐藤真理子
「生活指導およびメンタルヘルスケア」	
国際医療福祉大学医学部教授・山王病院心療内科部長	村上 正人
国際医療福祉大学医学部教授・山王病院心療内科	中尾 睦宏
「生活指導およびメンタルヘルスケア」	
横浜労災病院 勤労者メンタルヘルスセンター長	山本 晴義
「研究討議 メタボリックシンドローム関連」	
神奈川県立保健福祉大学 人間総合・専門基礎担当 講師	城川 美佳

イ 摂食嚥下リハビリテーション 3日間

開催形式	オンライン研修
日 程	令和3年1月9日(土)～2月20日(土)
受講料	35,000円 (令和元年度に徴収)
受講者数	52名
研修内容	
「病態別摂食嚥下障害 (中途障害の摂食嚥下障害)」	
日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長	菊谷 武
国立国際医療研究センター リハビリテーション科 医長	藤谷 順子
「摂食嚥下障害者への口腔管理と制度の理解」	
日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長	菊谷 武
「食事外部観察評価」	
日本歯科大学附属病院口腔リハビリテーション科	高橋 賢晃
「リスクマネジメント」	
藤田保健衛生大学病院 看護部 看護長	三鬼 達人
「摂食嚥下訓練」	
昭和大学病院 歯科・歯科口腔外科	柴田 由美
昭和大学歯科病院 歯科衛生室	木村 有子
日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック	
認定歯科衛生士	水上 美樹
〃	田中 祐子
「問題解決力の実践」	
宮城高等歯科衛生士学院 教務主任	佐藤 陽子
日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック	
認定歯科衛生士	水上 美樹
〃	田中 祐子
ほりい歯科クリニック	柴田 享子

ウ 在宅療養指導・口腔機能管理 3日間

開催形式	オンライン研修		
日 程	令和3年1月9日(土)～2月20日(土)		
受講料	40,000円 (令和元年度に徴収)		
受講者数	35名		
研修内容			
「栄養サポート」	鶴見大学 名誉教授		森戸 光彦
「医療と介護の連携」	厚生労働省医政局歯科保健課歯科衛生係長 医療法人永寿会 陵北病院 副院長		奥田 章子 阪口 英夫
「終末期への対応」	医療法人永寿会 陵北病院 副院長		阪口 英夫
「高齢者の全身疾患(評価と対応)」	昭和大学歯学部高齢者歯科学講座 講師		古屋 純一
「実践例の紹介(プレゼンテーション)」	横浜市緑福祉保健センター 歯科衛生士 三ノ輪口腔ケアセンター 歯科衛生士		岩崎 妙子 清水けふ子
「在宅療養者への歯科衛生士としての介入」	医療法人永寿会 陵北病院 副院長 ヒューマンデンタルクリニック 院長		阪口 英夫 飯田 良平

【日本歯科衛生士会主催・歯科衛生士教育機関委託】

ア 糖尿病予防指導(協力機関 徳島大学歯学部)

新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を受け、中止

イ 医科歯科連携・口腔機能管理(委託・協力機関 東京歯科大学)

新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を受け、中止

ウ 歯科医療安全管理(委託・協力機関 広島大学歯学部)

新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を受け、中止

③ 歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業

厚生労働省委託・日本歯科衛生士会主催

ア「歯科衛生士の研修指導者・臨床実地指導者等講習会」オンライン方式での実施

開催回	開催日	実施本部	受講者数
第1回	令和2年11月14日(土)～15日(日)	日本歯科衛生士会	24名
第2回	令和3年1月16日(土)～17日(日)	大阪歯科大学	24名
第3回	令和3年1月30日(土)～31日(日)	日本歯科衛生士会	23名
第4回	令和3年2月27日(土)～28日(日)	日本歯科衛生士会	24名

プログラム

事前研修

(1) ショートエッセイ

(2) 動画視聴

- ①カリキュラムプランニング (カリキュラムとは、目標編・方略編・評価編)
- ②雇用形態等の労働法規の仕組みについて
- ③組織における人材育成及び医療従事者の勤務環境改善マネジメントの考え方

内 容
S-I 講習会の進め方・WS とは
S-II 歯科保健医療の動向と歯科衛生士を取り巻く環境の変化
S-III 歯科衛生士の復職支援・離職防止等の推進に関する共通ガイド ラインの理解(アイスブレイクを兼ねてクイズ形式で実施)
S-IV 歯科衛生士の就業先(診療所)での問題点の抽出
S-V 研修カリキュラムのプランニング (①研修目標 ②研修方略 ③研修評価 事前研修復習含む改善検討)
S-VI 雇用形態等の労働法規の仕組み
S-VII 歯科医療従事者のスタッフトラブルを考える
S-VIII 組織における人材育成及び医療従事者の勤務環境改善マネジメントの考え方
S-IX 問題解決・問題点への対応「研修指導者・臨床実地指導者の役割」
S-X 地域で役立つために
S-XI 本講習会を振り返って、まとめ、質疑応答

タスクフォース・講師等	
(タスクフォース)	
日本歯科大学生命歯学部/東京歯科大学歯科医学教育開発センター	客員教授
	俣 木 志 朗
日本大学松戸歯学部 歯科矯正学 教授	葛 西 一 貴
東京歯科大学 社会歯科学研究室 教授	平 田 創一郎
東京医科歯科大学 統合教育機構 准教授	鶴 田 潤
日本歯科衛生士会企画運営委員	
神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科	上 原 弘 美
東京医科歯科大学歯学部附属病院歯科衛生士総合研修センター	岡 田 昌 子
日本歯科大学東京短期大学	小 森 朋 栄
名古屋医健スポーツ専門学校	田 村 清 美
広島大学大学院医系科学研究科口腔保健管理学的研究室	松 本 厚 枝
(講師)	
(第1回) 厚生労働省医政局歯科保健課 課長補佐	小 嶺 祐 子
(第2回～4回) 歯科衛生係長	奥 田 章 子
日本歯科大学附属病院 准教授	大 澤 銀 子
産業能率大学 経営学部 教授	宮 内 ミナミ
フェニックス社労士事務所 所長	峯 岸 陽 子

イ「歯科衛生士復職支援・離職防止等研修指導者養成研修事業」運営協議会の開催

- 委員長 須田 英明 (東京医歯薬専門学校 学校長 日本医歯薬専門学校 学校長)
- 委員 俣木 志朗 (日本歯科大学生命学部 客員教授
東京医科歯科大学歯科医学教育開発セター 客員教授)
- 品田佳世子 (東京医科歯科大学歯科衛生士総合研修センター センター長
東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 教授)
- 山本 一世 (大阪歯科大学歯科衛生士研修センター センター長
大阪歯科大学歯学部 主任教授 (副病院長))
- 内藤真理子 (広島大学歯学部歯科衛生士教育研修センター 副センター長)
- 稲垣 幸司 (愛知学院大学短期大学部 教授)
- 濱 昌代 (日本歯科医師会 理事)
- 吉田 直美 (東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 教授)

オブザーバー

- 小嶺 祐子 (厚生労働省医政局歯科保健課 課長補佐)
- 奥田 章子 (厚生労働省医政局歯科保健課 歯科衛生係長)
- 中西 桃子 (厚生労働省医政局歯科保健課)

- 開催日 ・第1回 令和2年10月29日(木)
- ・第2回 令和3年2月16日(火)

④ 認定歯科衛生士の認定・登録・更新

ア 特定する認定分野

認定分野A	生活習慣病予防 (特定保健指導-食生活改善指導担当者研修)
	摂食嚥下リハビリテーション
	在宅療養指導・口腔機能管理
	糖尿病予防指導
	医科歯科連携・口腔機能管理
認定分野B (専門学会との連携 による認定)	障害者歯科 (専門審査機関：日本障害者歯科学会)
	老年歯科 (専門審査機関：日本老年歯科医学会)
	地域歯科保健 (専門審査機関：日本口腔衛生学会)
	口腔保健管理 (専門審査機関：日本口腔衛生学会)
	う蝕予防管理 (専門審査機関：日本歯科保存学会)

イ 認定審査

認定歯科衛生士審査会 (1回開催)

令和3年3月20日 (認定分野A) 生活習慣病予防 (特定保健指導-食生活改善指導担当者研修)、摂食嚥下リハビリテーション、在宅療養指導・口腔機能管理

(認定分野B) 老年歯科、口腔保健管理、う蝕予防管理

ウ 認定登録、認定証交付

認 定 分 野		認定登録者	備 考
認定分野 A	生活習慣病予防（特定保健指導-食生活改善指導担当者研修）	18名	
	摂食嚥下リハビリテーション	46名	
	在宅療養指導・口腔機能管理	34名	
	糖尿病予防指導	—	
	医科歯科連携・口腔機能管理	—	
認定分野 B	障害者歯科	—	
	老年歯科	6名	
	地域歯科保健	—	
	口腔保健管理	2名	
	う蝕予防管理	5名	
認定分野 C	研修指導者・臨床実地指導者	36名	

(参考資料 8)

エ 認定更新、認定証交付

認 定 分 野		認定更新者数	備 考
認定分野 A	生活習慣病予防（特定保健指導-食生活改善指導担当者研修）	21名	
	摂食嚥下リハビリテーション	83名	
	在宅療養指導・口腔機能管理	49名	
認定分野 B	障害者歯科	29名	
	老年歯科	25名	
	地域歯科保健	3名	
	口腔保健管理	2名	

⑤ その他生涯研修に関すること

第5次生涯研修制度実施要綱の一部改正（eラーニング研修実施要領含む）

(2) 地域歯科衛生活動の指導者育成

保健医療福祉の動向に伴う歯科保健医療ニーズの変化に対応し、効果的な歯科衛生活動を実践するため、都道府県歯科衛生士会における歯科保健活動の実施状況を調べ、活動状況に関する情報の共有を図るとともに、歯科衛生推進に関する調査及びマニュアル作成等により活動内容の向上を図って、国民の健康と福祉の増進に寄与した。

① 歯科衛生推進フォーラムの開催

開催日	令和3年2月14日(日)
開催方法	Web開催
参加費	無料
参加者	172名 (内訳 都道府県歯科衛生士会92名、自由参加者51名、関係者24名、報道5名)
<p>実施内容</p> <p>講演「歯科保健医療の動向」 厚生労働省医政局歯科保健課 課長 田口 円裕</p> <p>報告「新たな日常」を支える歯科衛生推進委員会の活動報告</p> <p>① 病院委員会・診療所委員会 常務理事 武藤 智美 ② 地域歯科保健委員会 理 事 小前みどり ③ 教育養成委員会 理 事 関口 洋子 ④ 在宅・施設口腔健康管理委員会 常務理事 山口 朱見 ⑤ 災害歯科保健委員会 常務理事 久保山裕子</p>	

② 令和元年度地域歯科保健活動状況調査及び報告書作成、配布

全国47都道府県歯科衛生士会における令和元年度の地域歯科保健活動実施状況は、乳幼児、学童、成人、高齢者、要介護者、障害者等に対し9項目の事業を実施し、実施回数54,332回、歯科衛生士従事者数(延)106,135人、地域住民参加者数(延)1,869,741人であった。

本報告書は、都道府県歯科衛生士会及び関係者に配布し、ホームページに掲載した。

③ 医科歯科連携によるチーム医療の推進に関すること

・全国病院歯科衛生士連絡協議会の開催

新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を受け、中止

・チーム医療推進協議会への参画等

④ 歯科衛生業務に関する調査及びマニュアル作成等

・公益財団法人8020推進財団研究助成事業「通いの場に参加する高齢者におけるオーラルフレイルの実態と歯科介入ニーズの把握に関する調査研究」(理事 小原由紀)

・リーフレット「健やかなお子さまの成長を見守る お口の機能を育む習慣」の発行、配布

・各種マニュアル等、ホームページに掲載

⑤ その他歯科衛生の推進及び指導者育成に関すること

(3) 歯科衛生士の就業状況・意識等に関する調査

(4) 歯科衛生に関する国際協力

- ① 海外歯科衛生士の学術研究・関連情報の提供
- ② その他歯科衛生に関する国際協力

(5) 歯科衛生士の資質向上及び倫理の高揚に関すること

2 歯科衛生の学術研究の振興に関する事業

歯科衛生の実践に根ざした学術研究の振興を図るため、学術大会を開催し、学会雑誌を発行することにより、科学的根拠に基づく質の高い歯科衛生業務の実践を支援し、国民の健康と福祉の増進に寄与した。

(1) 日本歯科衛生学会 第15回学術大会の開催

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、現地会場（大阪府）での開催を中止し、日本歯科衛生学会雑誌 Vol. 15 No. 1（令和2年8月10日発行）上において抄録等の掲載を行うことにより発表とみなす「誌上開催」に開催方法を変更し開催した。なお、希望者には、参加証の発行を行った。

メインテーマ	広げよう！つなげよう！笑顔を支える輪—新たな時代の歯科衛生士の役割—		
主催	日本歯科衛生学会、公益社団法人日本歯科衛生士会		
共催	公益社団法人大阪府歯科衛生士会		
後援	一般社団法人大阪府歯科医師会、一般社団法人大阪市天王寺区歯科医師会		
学会雑誌発行数	22,100部		
学会雑誌配布数	総数	22,038部	
	(内訳) 学会員	16,475部	
	学生会員	4,988部	
	会員外	5部	
	その他関係先	570部	
参加証発行者数	746名（学会員 740名、会員外 6名） 希望者のみに発行		
プログラム			
・特別講演 認知症によりそう歯科衛生士のまなざし 松本診療所（ものわすれクリニック）理事長・院長 松本 一生			
・教育講演1 「大学・短期大学における臨床実習を考える」			
講演1 医療系教育における臨床実習 東京歯科大学短期大学 学長 鳥山 佳則			
講演2 歯科衛生士教育における臨床実習 東京医科歯科大学大学院生涯口腔保健衛生学分野 教授 荒川 真一			
・教育講演2 訪問歯科診療と歯科衛生士への期待 東京医科歯科大学大学院摂食嚥下リハビリテーション学分野 教授 戸原 玄			
・シンポジウム「新たな時代の歯科衛生士の役割」			

<p>基調講演 新たな時代の歯科衛生士に期待すること 大阪大学歯学研究科予防歯科学 教授 天野 敦雄</p>	
<p>講演 1 歯周病予防管理を担う歯科衛生士の立場から えんどう歯科クリニック 岡田智代子</p>	
<p>講演 2 医科歯科連携を担う歯科衛生士の立場から とみもと歯科医院 松浦 佑香</p>	
<p>講演 3 地域連携を担う歯科衛生士の立場から なんごうや歯科医院 山下恵里佳</p>	
<p>・日本口腔衛生学会共催企画「研究に挑戦しよう！－歯科衛生研究の進め方－ 日本口腔衛生学会歯科衛生士委員会 委員 大川 由一</p>	
<p>・日本歯科保存学会共催企画「認定歯科衛生士 認定分野B：う蝕予防管理の誕生と未来」 日本歯科保存学会認定歯科衛生士審査委員会 委員長 野杵由一郎</p>	
<p>・会員発表 133題</p>	
学術表彰	<p>学術発表賞（口演発表賞1名、ポスター発表賞1名、学生研究賞1名） 学術論文賞（奨励賞4名）</p>

(2) 日本歯科衛生学会雑誌の発行

VOL. 15 NO. 1 令和2年 8月10日発行 22,100部

VOL. 15 NO. 2 令和3年 2月10日発行 22,400部

主な配布先

会員、文部科学省、厚生労働省、国会図書館、歯科大学図書館、歯科衛生士学校、関連学会、関係団体等

医学中央雑誌掲載誌に登録し、データベースに収録

(3) 学会運営会議等

① 学会運営協議会 (令和2年 9月17日)

② 学会幹事会 (令和2年 5月10日、7月16日、9月17日、
12月1日、令和3年3月26日 メール会議 6月、
7月、12月)

③ 学会委員会 (企画委員会) (令和2年 5月10日)

(編集委員会) (令和2年 5月10日)

(総務委員会) (令和2年 5月8日、7月3日)

④ 学術表彰選考委員会 (令和2年 7月16日)

⑤ 学術プログラム委員会 (令和2年11月10日)

⑥ 倫理審査委員会 (令和2年 9月29日)

(4) 研究助成

国民の歯科口腔保健の推進に寄与し、歯科衛生業務の発展、向上の一助とすることを目的に、研究助成を行った。

・歯科衛生臨床研究助成1名 (株式会社YDMの協賛)

(5) その他学会の目的達成に必要なこと

II 歯科衛生の普及啓発により、国民の健康と福祉の増進に寄与する事業（公2）

1 歯科衛生の普及啓発及び広報に関する事業

(1) 歯科衛生だより（一般向け）の発行、配布（偶数月、年6回）

56号	令和2年4月1日発行、配布	発行部数	25,700部
57号	令和2年6月1日発行、配布	発行部数	26,000部
58号	令和2年8月1日発行、配布	発行部数	26,700部
59号	令和2年10月1日発行、配布	発行部数	27,700部
60号	令和2年12月1日発行、配布 (歯科衛生だより 会報と合併号)	発行部数	28,300部
61号	令和3年2月1日発行、配布	発行部数	28,200部

主な配布先

会員のほか都道府県、市区町村、全国図書館、社会福祉団体、歯科衛生士学校、歯科大学、都道府県歯科衛生士会、関係団体等

(2) 学生だよりの発行、配布

47号	令和2年7月15日発行、配布	発行部数	20,500部
48号	令和3年1月15日発行、配布	発行部数	20,600部

主な配布先

全国歯科衛生士学校の学生及び都道府県歯科衛生士会等

(3) 歯科衛生普及啓発用冊子等の発行、配布

(4) Webサイトによる歯科衛生情報等の配信

歯とお口の健康情報等

- 4月 「インフルエンザウイルス感染における口腔細菌の影響」
「噛む力を保ちましょう」
- 6月 「政府が進める高齢者のフレイル対策とオーラルフレイル対策」
「健口づくりが健幸人生のカギ！」
- 8月 「頑張らなくても口腔の健康格差を縮める仕掛け」
「『新しい生活様式』で実践するお口の健康づくり」
- 10月 「洗口液を上手に使ってお口の健康を保ちましょう」
「歯科診療所で行う主なエックス線写真撮影の種類と目的」
- 2月 「がん治療を支える口腔健康管理」
「ご存じですか？電動歯ブラシの特徴や使い方」

Ⅲ 地域の歯科衛生活動を支援することにより、国民の健康と福祉の増進に寄与する事業（公3）

（1）地域歯科衛生活動への助成

地域における歯科口腔保健を推進するため、都道府県歯科衛生士会等が実施する地域歯科衛生活動を助成し、支援した。

本会の「地域歯科衛生活動」事業助成交付要綱に基づき、「地域歯科衛生活動」助成事業審査委員会において審査を行い、申請のあった11団体（北海道歯科衛生士会、青森県歯科衛生士会、岩手県歯科衛生士会、山形県歯科衛生士会、埼玉県歯科衛生士会、新潟県歯科衛生士会、兵庫県歯科衛生士会、奈良県歯科衛生士会、和歌山県歯科衛生士会、島根県歯科衛生士会、福岡県歯科衛生士会）における地域歯科衛生活動を助成した。

実施計画は、活動内容 11項目、実施日数 60日、実施人数 1,552人、実施施設（会場）41か所、活動に参加した歯科衛生士（延）156人、歯科医師（延）4人、その他の職種（延）7人であった。活動の実施状況は、順次「歯科衛生だより」に掲載し、紹介した。

（参考資料9）

（2）災害歯科保健歯科衛生士の育成

ア 「災害歯科保健歯科衛生士フォーラム」（リーダー育成）の開催

新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を受け中止

イ 「ブロック別・災害歯科保健歯科衛生士フォーラム」（地域活動担当者育成）の開催

新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を受け中止

（3）災害時支援ネットワークシステムの整備・参画等

①災害歯科保健歯科衛生士（地域活動担当者）の育成

開催期日	令和3年1月6日(水)～31日(日)
開催内容	<p>eラーニングの受講・登録</p> <p>eラーニング内容</p> <p>「災害と支援の枠組み」</p> <p>「災害時の地域保健」</p> <p>「災害時の被災者の心理」</p> <p>国立保健医療科学院健康危機管理研究部（併任）生涯健康研究部 公衆衛生看護研究領域 上席主任研究官 奥田 博子</p> <p>「災害時の歯科の役割と変遷／災害支援における歯科衛生士の役割」</p> <p>「災害時の歯科口腔アセスメントの体系化／実際（地域）」</p> <p>「災害時の歯科口腔アセスメントの実際（個人）」</p> <p>「被災者の心情に配慮した歯科保健活動」</p> <p>「災害歯科保健活動における「食べる」支援」</p> <p>東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 助教 中久木康一</p> <p>「災害時の歯科衛生士の活動の実際」</p> <p>「災害歯科保健活動における多職種との連携」</p> <p>公益社団法人日本歯科衛生士会 常務理事 久保山裕子</p>
参加者	都道府県歯科衛生士会推薦者（参加費無料）
登録者	383名

②災害歯科保健歯科衛生士登録等の推進

Web サイトにおいて災害歯科保健歯科衛生士登録を行い、令和3年3月31日までに422名が登録した。また、9月1日～7日に、大規模災害を想定して、Web サイトに「災害特別ページ」の練習画面を掲載し、安否確認システムに1,002名が登録した。

③日本歯科医師会・災害歯科保健医療連絡協議会への参画、他

IV その他事業

1 都道府県歯科衛生士会及び地区との連携、及び会員管理等に関する事業（他1）

(1) 都道府県歯科衛生士会会長会の開催

日 時 令和3年2月14日（日）

開催方法 Web開催

出席者 都道府県歯科衛生士会長 47名

関係者（役員） 23名

協議事項

- 1 令和3年度事業計画（案）の概要について
- 2 令和3年度の生涯研修の進め方について
- 3 令和3年度「ブロック連絡協議会」実施要領について
- 4 入会案内について

報告事項

- 1 令和3年度厚生労働省歯科関連予算について
- 2 COVID-19に対応した会員への研修支援について
- 3 ブロック連絡協議会運営規則の改正について
- 4 令和元年度「地域歯科保健活動実施状況調査報告」
- 5 歯科衛生士賠償責任保険制度総合生活保険のご案内
6. その他

(2) ブロック連絡協議会開催助成

ブロック	開催日時	開催場所・参加人数	内 容	参加役員
北海道・東北 (岩手県)	R2.11.21（土） 13:00～15:00	Web会議 17名	講演 「歯科衛生士として COVID-19 に向き合う！～自分を守り、人を守り、心の健康を保とう～」 公益社団法人日本歯科衛生士会 会長 武井典子 ・日本歯科衛生士会情報提供 ・報告事項 ・情報交換 ・決議事項 (1) ブロック連絡協議会運営規則の一部改正について (2) 今期ブロック道県負担金とブロック理事活動費について (3) 次期ブロック理事推薦について (4) 次期ブロック担当県について	会長 武井 典子 常務理事 武藤 智美 理事 千葉 茂美

<p>関東信越 (埼玉県)</p>	<p>R2.9.27 (日) 14:00~16:30</p>	<p>Web会議 32名</p>	<p>講演 「歯科衛生士として COVID-19 に向き合う！～自分を守り、人を守り、心の健康を保とう～」 公益社団法人日本歯科衛生士会 会長 武井典子 ・日本歯科衛生士会情報提供 ・協議事項 (1) 新型コロナウイルス感染拡大対策として実施していること (2) オンライン会議やリモート研修会に参加困難な会員への対応 会員のメールアドレスの管理やセキュリティについて (3) 各都県歯科衛生士会と支部活動における連携状況について (4) 「持続化給付金」の申請実施の有無と理由について (5) その他</p>	<p>会長 武井 典子 副会長 上田 和美 理事 中村 郁子</p>
<p>東海北陸 (富山県)</p>	<p>R2.11.8 (日) 13:00~15:00</p>	<p>Web会議 18名</p>	<p>講演 「歯科衛生士として COVID-19 に向き合う！～自分を守り、人を守り、心の健康を保とう～」 公益社団法人日本歯科衛生士会 会長 武井典子 ・日本歯科衛生士会情報提供 ・協議事項 (1) ブロック協議会運営規則改正について (2) 日本歯科衛生士会への質疑応答</p>	<p>会長 武井 典子 副会長 上田 和美 理事 吉澤 茂美</p>
<p>近畿 (和歌山県)</p>	<p>R2.11.1(日) 13:30~15:20</p>	<p>Web会議 29名</p>	<p>講演 「歯科衛生士として COVID-19 に向き合う！～自分を守り、人を守り、心の健康を保とう～」 公益社団法人日本歯科衛生士会 会長 武井典子 ・日本歯科衛生士会情報提供 ・報告事項 ・協議事項 (1) ブロック連絡協議会運営規則の一部改正について (2) 次期ブロック理事について ・情報交換</p>	<p>会長 武井 典子 専務理事 河野 章江 理事 高田橋美幸</p>
<p>中国四国 (愛媛県)</p>	<p>R2.10.24 (土) 13:30~16:00</p>	<p>Web会議 17名</p>	<p>講演 「歯科衛生士として COVID-19 に向き合う！～自分を守り、人を守り、心の健康を保とう～」 公益社団法人日本歯科衛生士会 副会長 茂木美保 ・日本歯科衛生士会情報提供 ・協議及び各県情報収集事項 (1) コロナウイルス感染禍での研修会の実施について 各県の現状と今後の予定 (2) 演習が必要な研修への対応 (3) 参加申し込みや参加費の収集方法 (4) コロナ禍での地域活動の実施状況 (5) 会員へのコロナ感染症へのリスク対応(心構え等)の周知及びマスクや消毒液等の配布方法備蓄等の現状について</p>	<p>副会長 茂木 美保 理事 成行 稔子</p>

			(6) コロナウイルス感染禍での会員拡大について (7) アウトリーチ型オーラルフレイル事業を行政から委託を受けて実施されている県の実施状況について (8) 災害歯科保健の研修会の開催状況について (9) 協力会員（賛助会員）の状況について (10) 中国四国ブロック連絡協議会運営規則改定について (11) その他	
九州 (熊本県)	R2. 11. 29 (日) 14:00~16:30	Web会議 29名	講演 「歯科衛生士として COVID-19 に向き合う！～自分を守り、人を守り、心の健康を保とう～」 公益社団法人日本歯科衛生士会 会長 武井典子 ・日本歯科衛生士会情報提供 ・協議事項 (1) 令和2年度事業報告並びに収支決算(案)について (2) 令和3年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について (3) ブロック連絡協議会運営規則と細則の改定(案)について (4) ブロック内で協議を要する課題等について (5) 次期九州ブロック理事の推薦について (6) 次年度ブロック連絡協議会及びブロックフォーラム日程について ・日本歯科衛生士会への確認事項及び各県会への照会事項について	会長 武井 典子 理事 宮脇恵美子

(3) 会員拡大・管理・育成に関すること

① 歯科衛生だより会報の発行、配布

56号	令和2年4月1日発行、配布	発行部数	20,200部
57号	令和2年6月1日発行、配布	発行部数	20,500部
58号	令和2年8月1日発行、配布	発行部数	21,200部
59号	令和2年10月1日発行、配布	発行部数	22,200部
60号	令和2年12月1日発行、配布 (歯科衛生だより(一般向け)と合併号)	発行部数	28,300部
61号	令和3年2月1日発行、配布	発行部数	22,700部

主な配布先 会員、関係団体等

② 会員証の発行、配布

③ 歯科衛生士手帳の発行、配布

発行部数 22,400部

主な配布先 会員、関係団体等

④ 会員表彰

(正会員表彰) 功労賞 17名 永年精励賞 54名

(参考資料10)

(学生会員表彰) 92校 92名

- ⑤ その他会員拡大・管理・育成に必要なこと
 - ・入会案内の作成、配布等
 - ・災害時における会員の安否確認システム（再掲）

(4) 歯科衛生士の人材確保・復職支援に関すること

- ① 歯科衛生士の復職支援・離職防止等に関する運営委員会（東京医科歯科大学、大阪歯科大学、広島大学、愛知学院大学短期大学部）への参画
- ② 歯科衛生士復職支援対策連絡協議会（日本歯科医師会）への参画

2 会員の相互扶助に関すること（他2）

(1) 会員福祉規程に基づく死亡弔慰金、見舞金の給付

死亡弔慰金 8件 災害見舞金 4件 入院見舞金 41件

(2) 団体保険の紹介（傷害保険、賠償責任保険）

加入者

傷害保険 306人 賠償責任保険 1,993人（令和2年度 延人数）

V その他本会の目的達成のために必要なこと

- (1) 関係省庁との連携・協力
- (2) 関係団体との連携・協力
- (3) 要望書提出

厚生労働省及び関係者等に「令和3年度予算・制度等に関する要望書」を提出した。

(参考資料11)

(4) 関係省庁、関係団体の役員、委員等

一般財団法人歯科医療振興財団	理事	武井 典子
	監事	松田 智子
	評議員	上田 和美
歯科衛生士試験委員選考委員会	委員	吉田 直美
企画評価委員会	委員	吉田 直美
公益財団法人8020推進財団	理事	武井 典子
公益財団法人国際医療技術財団	評議員	武井 典子
国際歯科衛生士連盟（IFDH）	代議員	武井 典子
	代議員	小原 由紀
公益社団法人日本歯科医師会		
災害歯科保健医療連絡協議会		武井 典子
		上田 和美
日本在宅歯科医療・介護連携推進連絡協議会		武井 典子
2040年を見据えた歯科ビジョン検討会	委員	武井 典子

日本歯科医学会 歯科衛生士による診療補助としての局所麻酔に係る検討ワーキンググループ	委員	河野 章江 武藤 智美
母子保健推進会議 「8020 の里賞」	審査委員	小前みどり
特定非営利活動法人日本歯周病学会	理事	茂木 美保
特定非営利活動法人日本歯周病学会歯科衛生士関連委員会 日本歯科衛生士会選出委員		茂木 美保
特定非営利活動法人日本歯科保存学会	理事	立澤 敦子
日本スポーツ歯科医学会 日本歯科衛生士会選出理事		河野 章江
日本障害者歯科学会 災害支援委員会	委員	久保山裕子
公益財団法人ライオン歯科衛生研究所	評議員選定委員会委員	河野 章江
チーム医療推進協議会	団体代表 委員	武井 典子 武藤 智美
(日本歯科専門医機構) 専門医申請学会評価認定委員会	委員	武井 典子
専門医制度整備委員会学会専門医小委員会	委員	吉田 直美
専門医制度総務委員会	委員	立澤 敦子
国際歯科医療安全機構	理事	武井 典子
厚生労働省 (委託事業等を含む。)		
歯科医療提供体制等に関する検討会	委員	武井 典子
地方自治体等の歯科保健医療施策のための状況や各種取組等の 把握・収集・分析及び情報提供の在り方検討委員会	委員	武井 典子
I C Tを活用した医科歯科連携の検証事業等一式 委員会	委員	武井 典子
歯科健康診査推進事業に係る調査研究等検討委員会	委員	武井 典子
歯周病予防に関する実証事業検討委員会	委員	武井 典子
口腔保健に関する予防強化推進モデルに係る調査研究検討委員会	委員	茂木 美保
認知症の状況に応じた高齢者の継続的な口腔機能管理等に関する 調査研究事業に関する委員会	委員	武井 典子
通いの場に参加する高齢者を中心とした摂食機能等に応じた適切 な食事選択の方策に関する調査研究事業」に関する委員会	委員	武井 典子

(5) 加入団体及び後援協力事業

参考資料1 2に記載のとおり

VI 諸 会 議

1 代議員会

定時代議員会

日 時	令和2年6月14日(日)
場 所	ステーションコンファレンス東京 501
会議の成立	代議員総数 89名 出席代議員数 85名 (うち議決権行使73名) 欠席代議員数 4名 出席理事数 12名 出席監事数 2名 顧問・学会長 3名
議 長	岡部 明子 (千葉県)
副 議 長	大久保喜恵子 (埼玉県)
議事録署名人	芹澤 鏡子 (茨城県)、藤山 美里 (東京都)
議 事	第1号議案 令和元年度事業報告(案)に関する件 第2号議案 令和元年度決算報告(案)に関する件 第3号議案 選挙管理委員の選任に関する件

2 理 事 会

開 催 日	開催場所	出 席 者
(第1回) 決議の省略 (臨時) R2.6.14	—	—
(第2回) R2.7.26	ステーションコンファレンス東京 501	理事12名、監事2名、顧問等3名
(第3回) R2.10.4	日本歯科衛生士会会議室	理事19名(We b出席10名含む) 監事2名(We b出席)、顧問1名
(第4回) R2.12.5	日本歯科衛生士会会議室	理事19名(We b出席7名含む) 監事2名、顧問等3名
(第5回) R3.1.24	日本歯科衛生士会会議室	理事20名(We b出席12名含む) 監事2名、顧問等3名
(第6回) R3.3.14	日本歯科衛生士会会議室	理事20名(We b出席15名含む) 監事2名(We b出席1名含む)
		理事20名(We b出席13名含む) 監事2名、顧問等3名

*第1回理事会は、令和2年5月24日に開催を予定していたが新型コロナウイルス感染症の蔓延のため、定足数を満たさない事態となり中止した。そのため、「理事会の決議の目的である事項」について、定款第37条第2項の規定に基づき、代表理事(会長)から「決議の省略」を役員に提案し、理事全員の同意及び監事に異議がないことを確認し、理事会の決議があったものとみなされた。

議事内容

第1回理事会(理事会の決議があったものとみなされた日 令和2年5月28日)

- ・令和元年度事業報告（案）について
- ・令和元年度決算報告（案）について
- ・令和元年度特定費用準備資金等の積立について
- ・令和元年度事業報告に係る提出書（内閣府）について
- ・令和2年度定時代議員会の開催について
- ・選挙管理委員の選任（案）について
- ・令和2年度会長表彰について
- ・令和2年度生涯研修事業の実施について
- ・令和2年度「地域歯科衛生活動」助成事業（案）について
- ・新入会員の承認について
- ・臨時理事会の開催について

臨時理事会（令和2年6月14日）

- ・第15回学術大会について
- ・「歯科衛生士復職支援・離職防止等研修指導者養成研修等事業」の課題対応（案）について
- ・理事の推薦について
- ・COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の影響が長期化する中での対応
- ・「歯科におけるCOVID-19の影響 継続サーベイランス」へのご協力をお願い
- ・COVID-19感染防止に対応した会員への研修支援について
- ・令和2年度認定歯科衛生士の認定更新期限の延長（案）について
- ・第65回日本口腔外科学会総会・学術大会「第14回歯科衛生士研究会」について
- ・令和2年度ブロック連絡協議会、ブロック別・災害歯科保健歯科衛生士フォーラムについて
- ・新入会員の承認について

第2回理事会（令和2年7月26日）

- ・令和3年度予算・制度等に関する要望について
- ・金融資産の購入について
- ・日本歯科衛生学会第15回学術大会現地開催の中止に伴う支出について
- ・学会雑誌Vol.15No.1での誌上開催の取り扱いについて
- ・令和2年度「ブロック連絡協議会」実施要領及び「ブロック別・災害歯科保健歯科衛生士フォーラム」実施要領の改正について
- ・令和元年度認定歯科衛生士セミナー後期の実施方法について
- ・第5次生涯研修制度実施要綱の改正について
- ・認定歯科衛生士審査会委員の交代について
- ・規則・規程の一部改正について
- ・ブロック連絡協議会運営規則の一部改正について
- ・令和2年度災害歯科保健歯科衛生士フォーラム等の実施方法（案）について
- ・第65回日本口腔外科学会総会・学術大会「第14回歯科衛生士研究会」について

第3回理事会（令和2年10月4日）

- ・次期代議員選挙の告示及び都道府県別代議員数について
- ・令和2年度災害歯科保健歯科衛生士フォーラムの開催について
- ・令和2年度歯科衛生推進フォーラム及び都道府県歯科衛生士会会長会の開催について
- ・日本歯科衛生学会第17回（令和4年）学術大会 開催担当都道府県会及び大会長について
- ・令和2年度歯科衛生士復職支援・離職防止等研修指導者養成研修事業について
- ・規則・規程の一部改正について
- ・委員の委嘱について

- ・ 終身会員の承認について
- ・ 新入会員の承認について
- ・ 歯科衛生士賠償責任保険制度（賠償責任保険、総合生活保険）の保険料改定について
- ・ 「歯科衛生士による診療補助としての局所麻酔に係る検討ワーキンググループ」に委員の推薦について

第4回理事会(令和2年12月5日)

- ・ 令和3年度ブロック連絡協議会実施要領（案）について
- ・ 令和3年度ブロック別・災害歯科保健歯科衛生士フォーラム実施要領（案）について
- ・ 令和3年度認定歯科衛生士セミナー実施計画（案）について
- ・ 令和3年度「地域歯科衛生活動」事業助成交付要項（案）について
- ・ 令和3年度事業計画の概要（案）について
- ・ 地域で活動する歯科衛生士に対する歯科保健活動の支援（案）について
- ・ 「歯科衛生だより60号」国民・会報の合併号について
- ・ 規則・規程の一部改正について
- ・ 新入会員の承認について

第5回理事会(令和3年1月24日)

- ・ 日本歯科衛生学会第16回学術大会Web開催費用、参加費等について
- ・ 第24回感染症予防歯科衛生士講習会実施要領（案）について
- ・ 令和3年度職員給与について
- ・ 令和3年度各委員会の重点課題（案）について
- ・ 令和3年度事業計画（案）について
- ・ 令和3年度収支予算（内訳書）案について
- ・ 次期役員選任の公示について
- ・ 新入会員の承認について
- ・ 第5次生涯研修制度の一部改正について
- ・ 母子保健事業における手引きの監修と講演（Web）の実施について

第6回理事会(令和3年3月14日)

- ・ 令和3年度各委員会の重点課題（案）について
- ・ 令和3年度事業計画（案）について
- ・ 令和2年度補正予算（案）について
- ・ 令和3年度収支予算（案）について
- ・ 令和3年度資金調達及び設備投資の見込みについて
- ・ 令和3年度定時代議員会開催（案）について
- ・ 監事候補者（公認会計士）の推薦について
- ・ eラーニング研修の実施要領の一部改正について
- ・ 新入会員の承認について

3 常任委員会・専門委員会

委員会名	開催日	
(常任委員会) 生涯研修委員会	第1回	令和2年6月27日
	第2回	8月29日
	第3回	9月26日
	第4回	11月3日
	第5回	令和3年1月10日

生涯研修、認定歯科衛生士 合同委員会	第1回	令和3年1月10日
認定歯科衛生士委員会	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	令和2年6月26日 7月31日 11月29日 令和3年1月10日 3月21日
歯科衛生推進委員会 病院委員会	第1回 第2回	令和2年12月27日 令和3年3月12日
診療所委員会	第1回 第2回 第3回	令和2年12月20日 令和3年2月1日 3月5日
病院委員会、診療所委員会 合同委員会	第1回	令和3年3月19日
地域歯科保健委員会	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回	令和2年5月30日 6月28日 8月29日 9月19日 令和3年1月9日
教育養成委員会	第1回 第2回 第3回 第4回	令和2年5月9日 8月22日 11月1日 令和3年2月20日
在宅・施設口腔健康管理 委員会	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回	令和2年5月3日 6月21日 8月9日 12月27日 令和3年3月6日
災害歯科保健委員会	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	令和2年4月18日 5月23日 8月23日 9月19日 11月23日 令和3年2月23日
国際協力委員会	第1回 第2回	令和3年1月9日 3月27日
広報委員会	第1回	令和3年2月18日
組織委員会	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	令和2年5月10日 6月28日 10月18日 11月23日 12月19日 令和3年2月5日
選挙管理委員会	第1回 第2回 第3回 第4回	令和2年8月30日 令和3年1月10日 1月17日 3月7日

表彰審査会	第1回 第2回	令和2年4月(書面表決) 令和3年2月(書面表決)
(専門委員会) 認定歯科衛生士審査会	第1回	令和3年3月20日
医療連携歯科衛生士委員会	—	—
「地域歯科衛生活動」助成事業審査委員会	第1回	令和2年5月9日
生涯研修プログラム向上委員会	—	—
調査委員会	—	—
(日本歯科衛生学会委員会等) 学会幹事会	第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回	令和2年5月10日 6月(メール会議) 7月(メール会議) 7月16日 9月17日 12月1日 12月(メール会議) 令和3年3月26日
学会委員会 企画委員会	第1回	令和2年5月10日
編集委員会	第1回	令和2年5月10日
学会運営協議会	第1回	令和2年9月17日
学術プログラム委員会	第1回	令和2年11月10日
学術表彰選考委員会	第1回	令和2年7月16日
倫理審査委員会	第1回	令和2年9月29日

(参考資料3)

Ⅶ 監査

事業及び会計監査

第1回

開催日 令和2年5月15日(金)
開催場所 本会会議室
監査対象期間 令和元年度、令和2年2月～3月
出席者 渡邊監事、今村監事
武井会長、上田副会長、茂木副会長、河野専務理事、根岸常務理事
松田顧問

第2回

開催日 令和2年9月11日(金)
開催場所 本会会議室

監査対象期間 令和2年度、令和2年4月～7月
出席者 渡邊監事、今村監事
武井会長、河野専務理事、根岸常務理事、松田顧問

第3回

開催日 令和2年12月15日(火)
開催場所 本会会議室
監査対象期間 令和2年度、令和2年8月～10月
出席者 渡邊監事、今村監事
上田副会長、茂木副会長、河野専務理事、松田顧問

第4回

開催日 令和3年2月19日(金)
開催場所 本会会議室
監査対象期間 令和2年度、令和2年11月～令和3年1月
出席者 渡邊監事、今村監事
河野専務理事、根岸常務理事、松田顧問

参考資料 1

I 会員の状況

1 会 員 21,768名(含む)

正 会 員 16,506名
 [正 会 員 16,428名
 正 会 員 (名誉会員) 5名
 正 会 員 (終身会員) 73名]

準 会 員 5,262名(含む)
 [学 生 会 員 5,107名
 第 二 会 員 127名
 賛 助 会 員 28社]

名誉会員 (5名)
 今井 徳 (東京都)
 佐々木富美子 (大阪府)
 百束 雅子 (千葉県)
 小林 キクイ (新潟県)
 金澤 紀子 (東京都)

終身会員 (73名)
 北海道 3名、青森県 2名
 岩手県 2名、秋田県 2名
 山形県 1名、福島県 1名
 茨城県 3名、群馬県 1名
 埼玉県 2名、千葉県 6名
 東京都 6名、神奈川県 1名
 山梨県 1名、静岡県 1名
 愛知県 2名、三重県 1名
 滋賀県 2名、京都府 3名
 大阪府 8名、兵庫県 1名
 和歌山県 1名、鳥取県 2名
 岡山県 4名、広島県 3名
 山口県 1名、香川県 1名
 愛媛県 3名、高知県 1名
 福岡県 3名、熊本県 1名
 大分県 2名、鹿児島県 1名
 沖縄県 1名

物故会員 (10名)
 吉田 芳子 (京都府)
 下川 由紀子 (北海道)
 尾台 裕美 (長野県)
 今井 徳 (東京都)
 砂子澤 浩子 (岩手県)
 永田 令佳 (兵庫県)
 高本 留美 (熊本県)
 野口 牧子 (新潟県)
 匿名 (福島県)
 匿名 (岡山県)

正会員の都道府県別内訳

都道府県	継続会員	新入会員	R3. 3. 31
北海道	606	46	652
青森県	103	19	122
岩手県	220	7	227
宮城県	186	20	206
秋田県	86	3	89
山形県	142	3	145
福島県	293	16	309
茨城県	247	8	255
栃木県	144	1	145
群馬県	334	16	350
埼玉県	417	21	438
千葉県	446	18	464
東京都	1,077	119	1,196
神奈川県	539	38	577
山梨県	124	12	136
長野県	442	38	480
新潟県	503	19	522
富山県	118	0	118
石川県	131	44	175
福井県	75	4	79
岐阜県	365	38	403
静岡県	468	36	504
愛知県	968	40	1,008
三重県	304	17	321
滋賀県	187	5	192
京都府	329	9	338
大阪府	974	50	1,024
兵庫県	1,155	174	1,329
奈良県	164	11	175
和歌山県	118	4	122
鳥取県	99	4	103
島根県	215	2	217
岡山県	306	6	312
広島県	444	10	454
山口県	184	55	239
徳島県	163	13	176
香川県	282	6	288
愛媛県	186	9	195
高知県	155	4	159
福岡県	603	28	631
佐賀県	151	6	157
長崎県	189	48	237
熊本県	463	45	508
大分県	216	14	230
宮崎県	71	6	77
鹿児島県	180	15	195
沖縄県	189	38	227
計	15,361	1,145	16,506

学生会員加入校および学生会員数

令和3年3月31日現在 106校

都道府県	No	学 校 名	1年	2年	3年	4年	大学院	計
北海道	1	旭川歯科学院専門学校 歯科衛生士科			32			32
	2	小樽歯科衛生士専門学校 歯科衛生士科	29	22	21			72
	3	オホーツク社会福祉専門学校 歯科衛生士科		8	8			16
	4	札幌医学技術福祉歯科専門学校 歯科衛生士科	2	2	3			7
	5	札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科		2				2
	6	北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校			1			1
	7	北海道歯科衛生士専門学校	32	1	6			39
	8	北海道ハイテクノロジー専門学校 歯科衛生士学科	28	14	12			54
	9	吉田学園医療歯科専門学校 歯科衛生学科	42	40	48			130
青森県	10	八戸保健医療専門学校 歯科衛生士学科			5			5
岩手県	11	岩手医科大学医療専門学校 歯科衛生学科	3	6	11			20
福島県	12	東北歯科専門学校 歯科衛生士科			22			22
	13	福島医療専門学校 歯科衛生士科	67	67	48			182
	14	福島県立総合衛生学院 歯科衛生学科			6			6
茨城県	15	茨城歯科専門学校 歯科衛生士科	50	50	48			148
	16	つくば歯科福祉専門学校	20	22	18			60
	17	取手歯科衛生専門学校 歯科衛生士科	33	34	32			99
栃木県	18	栃木県立衛生福祉大学校歯科技術学部 歯科衛生学科			20			20
群馬県	19	太田医療技術専門学校 歯科衛生学科			37			37
	20	群馬県高等歯科衛生士学院	1					1
	21	中央医療歯科専門学校 太田校 歯科衛生士学科			30			30
	22	中央医療歯科専門学校 高崎校 歯科衛生士学科			29			29
埼玉県	23	葵メディカルアカデミー 歯科衛生科			39			39
	24	埼玉県立大学 保健医療福祉学部健康開発学科 口腔保健科学専攻	1		1	2		4
千葉県	25	北原学院歯科衛生専門学校			125			125
	26	北原学院千葉歯科衛生専門学校			71			71
	27	千葉県立保健医療大学 健康科学部 歯科衛生学科				4		4
東京都	28	東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻		2	5	13		20
	29	東京歯科衛生専門学校		11				11
	30	東京歯科大学短期大学 歯科衛生学科	1		49			50
	31	日本大学歯学部附属歯科衛生専門学校			33			33
	32	早稲田医学院歯科衛生士専門学校	2					2
神奈川県	33	湘南歯科衛生士専門学校			32			32
	34	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校	50	41	36			127
	35	横浜歯科医療専門学校 歯科衛生士学科		5	1			6
山梨県	36	山梨県歯科衛生専門学校			46			46
長野県	37	長野医療衛生専門学校 歯科衛生士学科			12			12
	38	長野県公衆衛生専門学校 歯科衛生士学科			19			19
	39	長野平青学園 歯科衛生士科			16			16
	40	松本歯科大学衛生学院 歯科衛生士学科			35			35
富山県	41	富山歯科総合学院 歯科衛生士科			41			41
石川県	42	石川県歯科医師会立歯科医療専門学校 歯科衛生士科			44			44
岐阜県	43	朝日大学歯科衛生士専門学校			72			72
	44	大垣女子短期大学 歯科衛生学科			57			57
	45	岐阜県立衛生専門学校 歯科衛生学科			18			18

静岡県	46	中央医療健康大学校 歯科衛生学科			31			31
	47	中央歯科衛生士調理製菓専門学校 歯科衛生学科			25			25
	48	浜松医療福祉専門学校 歯科衛生士科			25			25
	49	浜松歯科衛生士専門学校			40			40
愛知県	50	愛知学院大学短期大学部 専攻科		2			11	13
	51	慈恵歯科医療ファクション専門学校	31	30	21			82
	52	ナゴノ福祉歯科医療専門学校			75			75
	53	名古屋医健スポーツ専門学校 歯科衛生科			38			38
	54	名古屋市歯科医師会附属歯科衛生士専門学校			45			45
	55	名古屋ユマニテク歯科衛生専門学校			71			71
	56	三河歯科衛生専門学校			40			40
三重県	57	伊勢保健衛生専門学校 歯科衛生学科			26			26
	58	三重県立公衆衛生学院 歯科衛生学科			29			29
	59	ユマニテク医療福祉大学校 歯科衛生学科			21			21
滋賀県	60	滋賀県立総合保健専門学校 歯科衛生学科	1				1	
京都府	61	京都歯科医療技術専門学校 衛生士科	2		7			9
	62	京都文化医療専門学校	1		2			3
大阪府	63	大阪歯科学院専門学校 歯科衛生士学科			58			58
	64	大阪歯科大学医療保健学部 口腔保健学科	4	2	6	22		34
	65	大阪府歯科医師会附属歯科衛生士専門学校			73			73
	66	関西女子短期大学 歯科衛生学科	6					6
	67	堺歯科衛生士専門学校			32			32
	68	新大阪歯科衛生士専門学校	130	133	115			378
	69	太成学院大学歯科衛生専門学校	21	27	5			53
	70	なにわ歯科衛生専門学校			98			98
	71	梅花女子大学 看護保健学部 口腔保健学科				6		6
	72	行岡医学技術専門学校 歯科衛生科	37	46	46			129
兵庫県	73	神戸常盤大学短期大学 口腔保健学科			14			14
	74	姫路歯科衛生専門学校			39	28		67
	75	兵庫県歯科医師会附属兵庫歯科衛生士学院			86	72		158
	76	兵庫県立総合衛生学院 歯科衛生学科			39	41		80
和歌山県	77	和歌山県歯科衛生士専門学校	33	36	33			102
鳥取県	78	鳥取県立歯科衛生専門学校			20			20
島根県	79	島根県歯科技術専門学校 歯科衛生士科			24	39		63
岡山県	80	朝日医療大学校 歯科衛生学科	52	54	42			148
	81	インターナショナル岡山歯科衛生専門学校	40	35	40			115
広島県	82	広島高等歯科衛生士専門学校			56			56
	83	広島大学歯学部口腔健康科学科口腔保健学専攻					19	19
徳島県	84	徳島穴吹カレッジ 歯科衛生士学科			6			6
	85	四国歯科衛生士学院専門学校			11			11
	86	徳島歯科学院専門学校 歯科衛生士科		20	25			45
	87	徳島大学歯学部 口腔保健学科			15	15	4	34
	88	徳島文理大学 保健福祉学部 口腔保健学科				25		25
香川県	89	穴吹医療大学校 歯科衛生学科			22			22
	90	香川県歯科医療専門学校 衛生士科		46	54			100
愛媛県	91	河原医療大学校 歯科衛生学科	41	42	35			118
	92	松山歯科衛生士専門学校 歯科衛生学科		35	41			76
福岡県	93	九州歯科大学歯学部口腔保健学科	11	13	8	22		54

福岡県	94	博多メディカル専門学校 歯科衛生士科	1		54			55
	95	福岡医健・スポーツ専門学校 歯科衛生士科			29			29
	96	福岡医療短期大学 歯科衛生学科		3	2			5
	97	福岡歯科衛生専門学校	9		1			10
佐賀県	98	佐賀歯科衛生専門学校	29	40	28			97
長崎県	99	九州文化学園歯科衛生士学院			35			35
	100	長崎歯科衛生士専門学校 歯科衛生士科			32			32
熊本県	101	熊本歯科技術専門学校 歯科衛生士科			22			22
大分県	102	大分歯科専門学校 歯科衛生士科			39			39
	103	藤華歯科衛生専門学校 歯科衛生学科		8				8
鹿児島県	104	鹿児島歯科学院専門学校 歯科衛生士科			35			35
	105	鹿児島医療福祉専門学校 歯科衛生学科			29			29
沖縄県	106	沖縄歯科衛生士学校			41			41
計			810	1087	3067	128	15	5107

賛助会員名簿

令和3年3月31日現在

No.	会社名	住所
1	医歯薬出版株式会社	東京都文京区本駒込1-7-10
2	一世印刷株式会社	東京都新宿区下落合2-6-22
3	ウエルテック株式会社	大阪府大阪市北区豊崎3-19-3
4	有限会社佐々木広告社	東京都文京区本駒込1-11-5
5	サンスター株式会社	大阪府大阪市中央区今橋1-3-3
6	株式会社ジーシー	東京都文京区本郷3-2-14
7	株式会社松風	京都府京都市東山区福稲上高松町11
8	昭和薬品化工株式会社	東京都中央区京橋2-17-11 三栄ビル別館4階
9	ジョンソン・エンド・ジョンソン 株式会社コンシューマカンパニー	東京都千代田区西神田3-5-2
10	ゾンネボード製薬株式会社	東京都八王子市散田町5-7-14
11	タカラベルモント株式会社	東京都港区赤坂7-1-19
12	株式会社ニッシン	東京都台東区台東4-14-8
13	ヒューフレディ・ジャパン合同会社	東京都千代田区外神田6-13-10 プロステック秋葉原6F
14	株式会社モリタ	大阪府吹田市垂水町3-33-18
15	株式会社ヨシダ	東京都台東区上野7-6-9
16	ライオン歯科材株式会社	東京都墨田区本所1-3-7
17	株式会社YDM	東京都北区田端6-5-20
18	小林製薬株式会社	大阪府茨木市豊川1-30-3
19	株式会社グッピーズ	東京都新宿区西新宿1-25-1-13F
20	グラクソ・スミスクライン・コンシューマ ・ヘルスケア・ジャパン株式会社	東京都港区赤坂1-8-1 赤坂インターシティAIR
21	株式会社クオキャリア	東京都豊島区南大塚3-46-3 いちご大塚ビル6F
22	P&Gジャパン合同会社	東京都中央区京橋2-2-1 京橋エドグラン15階
23	株式会社ジェイ・エム・エス	東京都品川区南大井1-13-5 新南大井ビル
24	株式会社クリニコ	東京都目黒区目黒4-4-22
25	日本歯科薬品株式会社	山口県下関市西入江町2-5
26	クロスフィールド株式会社	東京都墨田区江東橋1-3-6
27	長田電機工業株式会社	東京都品川区西五反田5-17-5
28	株式会社デンタルダイヤモンド社	東京都文京区本郷3-2-15 新興ビル

II 理事、監事、代議員、顧問、職員

1 理 事

会 長	武井 典子	
副会長	上田 和美	(認定研修、教育養成、歯科衛生推進フォーラム、会長会)
	茂木 美保	(生涯研修、地域歯科保健、会長会)
専務理事	河野 章江	(広報、組織、総務、会長会、調査、指導者等講習会)
常務理事	久保山裕子	(災害歯科保健、在宅施設口腔健康管理)
	根岸 麻理	(財務)
	武藤 智美	(病院、診療所、医療連携)
	浪岡多津子	(生涯研修)
	山口 朱見	(在宅・施設口腔健康管理)
理 事	小原 由紀	(学会、国際協力)
	伊藤眞知子	(広報)
	吉本 美枝	(認定研修)
	関口 洋子	(教育養成)
	小前みどり	(地域歯科保健)
	千葉 茂美	(組織)
	中村 郁子	(組織)
	吉澤 茂美	(組織、在宅・施設口腔健康管理)
	高田橋美幸	(組織)
	成行 稔子	(組織)
	宮脇恵美子	(組織)

2 監 事

会 員	渡邊 洋子
会員外	今村 敬

3 代 議 員 89名 別紙 代議員名簿のとおり

4 顧 問

会 員	金澤 紀子
会 員	松田 智子
弁 護 士	宮武 洋吉
税 理 士	小林 広樹

5 学会顧問

学校法人東京歯科大学主事	石井 拓男
千葉県立保健医療大学教授	大川 由一
東京医科歯科大学名誉教授	和泉 雄一
新潟大学名誉教授	宮崎 秀夫

6 事務職員

事務局長	村上 安昭				
主 任	鈴木 恵子				
係 員	柴崎 昌子	中川 恵美	新垣 利絵	増田 望	小林ノリヨ
パート職員	三本華余子 (週 2 日)				

代 議 員 名 簿

(令和3年3月代議員選挙終了まで)

会 名	代 議 員	備 考	会 名	代 議 員	備 考
北海道	市 川 智 恵		愛知県	渡 邊 理 沙	
	川 平 景 子			森 下 志 穂	
	末 永 智 美		三重県	笹 間 滋 代	
青森県	田名辺 裕 子			丹 羽 友 美	
岩手県	晴 山 婦美子		滋賀県	村 西 加寿美	
宮城県	人 見 早 苗		京都府	谷 内 妙 子	
秋田県	甫 仮 貴 子			橋 本 美 影	
山形県	小 野 淑 子		大阪府	永 田 節 子	
福島県	玉 川 春 美			郡 一 美	
茨城県	芹 澤 鏡 子			橋 場 佳 子	
	岩 村 昌 子			品 田 和 子	
栃木県	林 幸 子			山 口 千 里	
群馬県	入 山 久美子			兵庫県	榎 村 實 枝
	石 川 博 美		花 房 千重美		
埼玉県	大久保 喜恵子		高 橋 千 鶴		
	富 永 悦 子		岩 崎 小百合		
千葉県	岡 部 明 子		石 井 美 和		
	時 田 一 枝		清 水 豊 子		
東京都	細 田 江美子		奈良県	吉 福 美 香	
	関 口 晴 子		和歌山県	山 下 千 穂	
	藤 山 美 里		鳥取県	石 井 奈 美	
	佐 藤 祥 子		島根県	安 部 美智野	
	佐 藤 静 香		岡山県	杉 山 珠 美	
小 暮 弘 子		三 浦 留 美			
神奈川県	鈴 木 幸 江		広島県	倉 本 晶 子	
	打 矢 純 子			中 井 美佐子	
	渡 邊 月 子		山口県	田中丸 初 子	
山梨県	永 井 鈴 美		徳島県	河 野 美枝子	
長野県	宮 嶋 典 子		香川県	木 戸 みどり	
	宮 澤 真 弓			松 尾 明 美	
	太 田 あつこ		愛媛県	松 井 寛 子	
新潟県	高 橋 純 子		高知県	植 田 彩 子	
	柴 田 佐都子		福岡県	天 本 和 子	
	薄 波 清 美			岩 男 好 恵	
富山県	山 田 尚 代			松 永 真理子	
石川県	須 貝 美 夏		佐賀県	八 木 浩 子	
福井県	坂 本 陽 子		長崎県	田 中 朝 子	
岐阜県	藤 井 重 子		熊本県	坂 本 由 美	
	奥 村 美 雪			中 園 真由美	
静岡県	金 森 麻依子			越 川 由 紀	
	森 野 智 子		大分県	有 松 ひとみ	
	井 村 典 子		宮崎県	下 池 光	
愛知県	水 草 あゆみ		鹿児島県	下 川 真 弓	
	金 森 いづみ		沖縄県	比 嘉 香恵子	
	柴 田 享 子				

参考資料 3

常任委員会等名簿

1) 常任委員会・専門委員会

令和3年3月31日現在

委員会名	委員名
(常任委員会) 生涯研修委員会	◎浪岡多津子(常務理事)、○山本 智美(静岡県)、横田 忍(大阪府) 佐藤 伸子(東京都)、藤田 美香(山梨県)、山中由美子(千葉県)
認定歯科衛生士委員会	◎吉本 美枝(理事)、○須山 弘子(東京都)、○水上 美樹(東京都) 小山 圭子(東京都)、三橋千代子(千葉県)、白井 正子(東京都) 清水けふ子(埼玉県)、金子 信子(大阪府)、石黒 幸枝(滋賀県) 佐藤 陽子(宮城県)、柴田 享子(愛知県)、田中 祐子(東京都) 大屋 朋子(千葉県)、重富 照子(福岡県)、森本みどり(徳島県) 中岡美由紀(広島県)
歯科衛生推進委員会 病院委員会	◎武藤 智美(常務理事)、山本 伸子(滋賀県)、池上由美子(東京都) 古川由美子(熊本県)、尾形 祐己(大阪府)、大屋 朋子(千葉県)
診療所委員会	◎武藤 智美、○小林 明子(東京都)、小森 朋栄(東京都) 村上 恵子(東京都)、寒河江夏子(千葉県)、渡邊 奈菜(静岡県)
地域歯科保健委員会	◎小前みどり(理事)、○安部美智野(島根県)、吉原佐智子(神奈川県) 長 優子(東京都)、中村 恵奈(愛知県)、玉川 春美(福島県)
教育養成委員会	◎関口 洋子(理事)、井出 桃(神奈川県)、佐塚真理子(静岡県) 島谷 和恵(東京都)、福田 弘美(岡山県)、菅野 亜紀(東京都)
在宅・施設口腔健康 管理委員会	◎山口 朱見(常務理事)、久保山裕子(常務理事)、吉澤 茂美(理事) ○篠原 弓月(東京都)、松尾 由佳(奈良県)、原口 公子(福岡県)
災害歯科保健委員会	◎久保山裕子(常務理事)、小前みどり(理事)、宮脇恵美子(理事) 水内 志穂(東京都)、原口 公子(福岡県)
国際協力委員会	◎小原 由紀(理事)、○宮澤 絢子(東京都)、薄井 由枝(熊本県) 二宮 望(大阪府)、竹之内 茜(東京都)
広報委員会	◎伊藤真知子(理事)、○井出 桃(神奈川県)、染谷真喜子(東京都) 麻生 智子(千葉県)、大久保喜恵子(埼玉県)、喜田さゆり(東京都)
組織委員会	◎宮脇恵美子、千葉 茂美、中村 郁子、吉澤 茂美、高田橋美幸 成行 稔子
選挙管理委員会	◎清田 法子(神奈川県) ○若月 恵美(山梨県) 持田 雄子(茨城県)、古市 玲子(群馬県)、福田 尚子(埼玉県) 尾谷 始子(千葉県)、石井 知子(東京都) 予備委員 竹中 京子(茨城県)、砂川 陽子(群馬県)、吉岡 典子(埼玉県) 植田佐知子(千葉県)、柳瀬 琴江(東京都)、佐野 孝子(神奈川県) 小林かおり(山梨県)
表彰審査会	◎堀 正子(神奈川県)、○大金 伸子(東京都) 船山由利子(栃木県)、神戸 節子(群馬県)、廣瀬加奈恵(埼玉県)
(専門委員会) 認定歯科衛生士審査会	秋房 住郎(日本口腔衛生学会)、下山 和弘(日本老年歯科医学会) 那須 郁夫(日本老年歯科医学会)、馬場 尊(日本摂食嚥下リハビリテーション学会) 植田耕一郎(日本摂食嚥下リハビリテーション学会) 島村 和宏(日本障害者歯科学会)、立澤 敦子(日本歯科衛生学会) 大久保喜恵子(埼玉県)、橋場 佳子(大阪府)
医療連携歯科衛生士 委員会	◎武藤 智美(常務理事)、小原 由紀(理事)立澤 敦子(東京都) 石井 美和(兵庫県)

「地域歯科衛生活動」 助成事業審査委員会	小前みどり（理事）、長 優子（東京都）、立澤 敦子（東京都） 大島 克郎（日本歯科大学東京短期大学 教授）
生涯研修プログラム向 上委員会	浪岡多津子（常務理事）、吉本 美枝（理事）、山本 智美（静岡県） 須山 弘子（東京都）、水上 美樹（東京都）
指導者等講習会企画運 営委員会	小森 朋栄（東京都）、田村 清美（愛知県）、上原 弘美（兵庫県） 松本 厚枝（広島県）、岡田 昌子（千葉県）、小原 由紀（東京都） 高田橋美幸（大阪府）
共通ガイドライン改正 作業委員会	石井 美和（兵庫県）、上原 弘美（兵庫県）、小森 朋栄（東京都） 島谷 和恵（東京都）、田村 清美（愛知県）、長 優子（東京都） 武藤 智美（北海道）

◎委員長 ○副委員長

2) 日本歯科衛生学会委員会等

委員会名	委員名
学会幹事会	吉田 直美 (学会長)、小原 由紀 (理事)、立澤 敦子 (幹事長) 松本 厚枝 (副幹事長)、石川奈保美 (副幹事長)、吉田 幸恵 (幹事) 金久 弥生 (幹事)、川本 亜紀 (幹事)
学会委員会 企画委員会	◎石川奈保美 (副幹事長) ○原 久美子、○小倉 千幸、阿部 智美
総務委員会	◎立澤 敦子 (幹事長) ○川本 亜紀 (幹事)、江口 貴子
編集委員会	◎松本 厚枝 (副幹事長) ○畠中 能子、○金久 弥生 (幹事)、○伊藤 奏 今井 光枝、菅野 亜紀、松田 悠平
学会運営協議会	吉田 直美 (学会長)、小原 由紀 (理事)、立澤 敦子 (幹事長) 松本 厚枝 (副幹事長)、石川奈保美 (副幹事長)、吉田 幸恵 (幹事)、 金久 弥生 (幹事)、川本 亜紀 (幹事) 橋場 佳子 (第15回学術大会長)、晴山婦美子 (第16回学術大会長)
学術プログラム委員会	吉田 直美 (学会長)、小原 由紀 (理事)、立澤 敦子 (幹事長) 松本 厚枝 (副幹事長)、石川奈保美 (副幹事長)、吉田 幸恵 (幹事) 金久 弥生 (幹事)、川本 亜紀 (幹事) 晴山婦美子 (第16回学術大会長) 小田 郁子 (第16回学術大会実行委員長)
学術表彰選考委員会	石井 拓男 (顧問・学校法人東京歯科大学 主事) 大川 由一 (顧問・千葉県立保健医療大学教授) 和泉 雄一 (顧問・東京医科歯科大学名誉教授) 宮崎 秀夫 (顧問・新潟大学名誉教授) 武井 典子 (会長) 吉田 直美 (学会長)、河野 章江 (専務理事) 小原 由紀 (理事)、立澤 敦子 (幹事長)、松本 厚枝 (副幹事長) 石川奈保美 (副幹事長)、吉田 幸恵 (幹事)、金久 弥生 (幹事) 川本 亜紀 (幹事)
倫理審査委員会	◎吉田 幸恵 (幹事) 石井 拓男、鳥山 佳則、関根 透、白石 泰夫、宮武 洋吉、今井 光枝

◎委員長 ○副委員長

参考資料 4

令和2年度 第5次生涯研修制度 専門研修開催状況

	歯周治療の基本技術		摂食嚥下機能療法の基本技術		リフレッシュコース		歯科診療所等における医療安全管理対策		周術期等の口腔基礎管理		在宅歯科医療の基礎		合計	
	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数
北海道	0	0	1	36	1	16	1	12	1	77	4	137	8	278
青森県	0	0	1	16	0	0	2	23	0	0	1	16	4	55
岩手県	0	0	0	0	3	94	1	23	1	29	0	0	5	146
宮城県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋田県	0	0	1	10	1	8	0	0	0	0	0	0	2	18
山形県	1	18	0	0	1	18	0	0	0	0	1	15	3	51
福島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
茨城県	0	0	0	0	3	116	0	0	1	34	0	0	4	150
栃木県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
群馬県	0	0	1	68	1	43	1	49	0	0	0	0	3	160
埼玉県	3	98	0	0	4	126	2	89	1	39	2	94	12	446
千葉県	0	0	1	22	1	13	0	0	0	0	3	125	5	160
東京都	2	42	0	0	7	120	2	13	0	0	4	162	15	337
神奈川県	0	0	1	104	2	122	1	54	0	0	1	102	5	382
山梨県	1	24	1	23	3	76	0	0	1	27	4	120	10	270
長野県	0	0	0	0	2	61	0	0	0	0	1	46	3	107
新潟県	1	43	1	21	1	39	0	0	1	12	5	104	9	219
富山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川県	0	0	2	62	1	13	0	0	0	0	1	30	4	105
福井県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岐阜県	3	74	2	93	0	0	0	0	0	0	5	210	10	377
静岡県	1	51	1	52	1	34	0	0	0	0	6	259	9	396
愛知県	1	40	3	111	1	41	1	22	1	39	5	192	12	445
三重県	1	22	1	22	2	48	0	0	0	0	0	0	4	92
滋賀県	0	0	4	150	3	95	1	30	0	0	3	97	11	372
京都府	2	96	2	98	2	96	1	18	0	0	2	97	9	405
大阪府	1	98	2	205	3	239	1	85	1	58	6	580	14	1265
兵庫県	2	104	3	99	21	754	6	244	0	0	3	73	35	1274
奈良県	0	0	0	0	1	15	1	15	0	0	1	21	3	51
和歌山県	1	47	3	80	4	130	0	0	2	60	4	129	14	446
鳥取県	0	0	0	0	0	0	1	47	0	0	0	0	1	47
島根県	0	0	0	0	4	70	1	10	1	24	2	47	8	151
岡山県	0	0	1	20	2	57	1	36	0	0	0	0	4	113
広島県	1	33	1	26	1	76	1	72	1	33	3	157	8	397
山口県	0	0	0	0	1	21	0	0	0	0	0	0	1	21
徳島県	1	69	0	0	1	22	0	0	0	0	0	0	2	91
香川県	1	31	2	39	7	137	1	28	0	0	0	0	11	235
愛媛県	1	30	0	0	1	101	0	0	0	0	0	0	2	131
高知県	0	0	3	74	3	105	0	0	2	56	7	200	15	435
福岡県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	35	1	35
佐賀県	2	75	1	8	2	57	1	21	0	0	4	65	10	226
長崎県	4	33	1	22	1	22	0	0	0	0	0	0	6	77
熊本県	2	8	0	0	4	116	2	36	0	0	4	205	12	365
大分県	0	0	0	0	1	25	1	46	0	0	3	179	5	250
宮崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鹿児島県	4	162	0	0	1	13	0	0	0	0	2	28	7	203
沖縄県	0	0	0	0	0	0	2	69	0	0	0	0	2	69
合計	36	1,198	40	1,461	98	3,139	32	1,042	14	488	88	3,525	308	10,853

研修コース	備前治療の基本技術					リアルタイムコース							施設別管理			在宅療養医療の基礎	合計			
	備前治療の基礎	検査と評価	口腔衛生指導と生活習慣指導	スクリーニング・ルーチンワーク	備前治療の初期に必要な知識と技術	SPT・メンブリーナ・ナフシに必要知識と技術	超早期社会に求められる歯科予防と治療	医歯連携	臨床研修2	臨床研修3	口腔機能低下症	保存療法連携	補綴科連携	歯科衛生士に必要な業務記録の書き方	歯科衛生士に必要知識と技術の知識			社会に必要となる応用技術	医療安全管理	備前産科のCOVID-19対応
北海道	25	24	21	23	19	19	26	21	20	17	30	19	18	21	26	15	30	19	18	436
青森県	2	1	2	2	2	1	2	2	2	2	2	3	2	4	5	2	3	3	3	52
岩手県	7	6	7	4	2	3	6	3	2	2	10	9	7	7	9	6	6	5	10	116
宮城県	10	9	7	7	9	9	11	11	8	8	12	9	8	10	12	11	9	15	14	195
秋田県	1	0	1	0	0	0	1	2	1	1	1	0	0	0	1	0	0	3	1	13
山形県	4	3	3	2	1	1	2	2	1	1	5	1	1	2	6	1	2	2	3	49
福島県	2	2	2	1	1	1	3	3	2	2	4	4	4	4	6	2	5	6	3	54
茨城県	5	5	4	4	4	4	4	5	4	4	6	6	4	4	6	4	4	6	7	94
栃木県	18	14	17	15	12	14	19	11	10	7	22	11	10	13	19	14	15	14	14	289
群馬県	20	22	21	19	20	21	22	19	18	19	24	22	21	23	27	17	23	26	23	427
埼玉県	25	21	19	23	19	17	20	16	14	14	19	19	17	22	22	15	20	23	16	377
千葉県	10	9	10	7	7	7	7	10	7	7	13	7	6	13	13	7	25	31	9	214
東京都	37	34	33	33	26	27	38	27	26	26	37	29	28	38	48	37	38	57	37	689
神奈川県	25	22	26	20	18	20	22	22	20	20	30	19	21	27	32	17	32	29	24	481
山梨県	7	4	4	4	5	6	4	3	3	2	10	8	7	8	10	6	7	12	6	123
長野県	11	10	15	11	11	12	10	9	8	7	21	6	5	9	13	6	8	17	4	201
新潟県	13	9	10	8	9	9	12	6	4	4	12	7	6	10	12	10	11	11	9	181
富山県	4	4	5	4	3	3	5	3	3	3	3	2	3	4	4	3	4	5	2	70
石川県	7	6	7	7	5	5	5	6	5	5	8	4	5	5	9	5	7	7	9	124
福井県	7	6	5	5	4	4	6	4	4	4	8	5	4	4	8	7	7	6	7	115
岐阜県	8	8	7	5	4	5	7	2	2	2	7	7	5	7	8	6	4	12	5	116
静岡県	19	17	20	18	17	19	21	13	14	14	19	15	14	17	24	17	20	28	20	368
愛知県	23	23	22	17	16	16	22	15	11	10	21	15	16	21	30	13	12	24	23	376
三重県	20	17	16	13	14	13	18	16	15	11	22	13	13	16	20	13	15	18	13	314
滋賀県	2	1	3	1	1	2	3	1	1	1	4	1	1	2	3	3	2	5	3	43
京都府	4	4	5	6	5	5	5	4	3	3	4	2	3	5	5	2	3	6	4	84
大阪府	51	48	47	42	38	39	43	41	35	36	52	41	36	53	56	37	46	56	47	888
兵庫県	35	30	31	27	25	29	34	39	33	30	43	34	32	44	50	24	44	55	32	703
奈良県	7	5	6	5	4	4	4	6	5	5	7	6	5	8	7	5	7	9	6	117
和歌山県	5	5	5	4	4	4	4	4	3	3	5	3	3	6	6	3	6	7	4	90
鳥取県	9	8	7	6	6	5	8	4	3	3	5	5	4	7	6	4	7	9	6	117
徳島県	2	2	1	1	2	2	1	0	1	1	0	2	2	3	3	2	2	5	3	36
香川県	16	13	14	13	12	12	14	10	9	9	16	10	11	14	19	13	12	21	16	264
岡山県	20	18	18	18	16	17	19	17	17	16	22	19	17	22	26	19	22	29	20	391
山口県	5	2	4	2	2	3	3	1	1	1	2	1	2	3	4	3	4	4	4	52
徳島県	16	19	16	18	15	16	19	13	12	10	18	16	13	21	20	15	17	22	17	327
香川県	18	13	12	11	8	9	8	11	11	10	13	11	11	12	18	9	13	14	12	234
愛媛県	5	4	5	3	3	4	4	6	6	6	4	6	5	6	7	6	4	7	7	103
高知県	1	1	2	1	1	1	2	1	1	1	3	1	1	2	2	1	2	2	1	28
福岡県	25	23	31	22	19	20	26	22	20	20	31	23	23	30	42	24	26	32	33	518
佐賀県	7	5	6	4	3	6	4	5	5	5	9	3	4	4	5	3	6	8	5	101
長崎県	7	7	7	6	5	7	6	5	4	4	7	4	4	6	12	5	7	8	6	121
熊本県	3	2	2	3	3	3	4	0	0	1	4	2	1	1	4	2	4	3	4	47
大分県	2	0	1	0	0	0	3	3	3	3	6	0	0	1	3	1	3	4	1	39
宮崎県	6	2	3	2	3	2	3	2	2	2	8	2	2	2	2	2	2	2	1	52
鹿児島県	4	4	2	2	2	2	4	2	2	2	5	3	3	6	6	3	3	6	5	70
沖縄県	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	5	5	4	5	7	2	5	5	4	84
合計	564	496	516	458	409	433	519	492	384	369	619	438	408	554	683	422	548	723	529	9,983

令和2年 第5次生涯研修制度 修了者数

R2.12.31

	(1) 基本研修						(2) 特別研修	(3) 指定研修	合計
	歯周治療の 基本技術	摂食嚥下 機能療法の 基本技術	リフレッシュ コース	歯科診療所等 における医療 安全管理対策	周術期等の 口腔機能管理	在宅歯科医療 の基礎			
北海道	17	1	12	0	0	1	0	0	31
青森	2	0	1	0	0	2	0	0	5
岩手	3	0	2	0	0	0	0	0	5
宮城	4	0	4	0	0	0	0	0	8
秋田	0	0	1	0	0	0	0	0	1
山形	1	0	2	0	0	0	0	0	3
福島	1	0	1	0	0	0	1	0	3
茨城	3	0	3	0	0	0	1	0	7
栃木	12	0	2	0	0	0	2	0	16
群馬	18	0	5	0	0	2	0	0	25
埼玉	22	1	11	0	0	0	1	1	36
千葉	8	2	5	0	0	2	0	0	17
東京	31	3	22	1	1	5	3	3	69
神奈川	19	9	12	0	0	0	3	0	43
山梨	5	0	3	0	0	0	1	0	9
長野	4	0	5	0	0	0	0	0	9
新潟	6	1	6	0	0	3	1	0	17
富山	3	0	2	0	0	0	0	0	5
石川	1	3	1	0	0	0	0	0	5
福井	2	0	3	0	0	0	0	0	5
岐阜	4	6	3	0	0	1	2	0	16
静岡	15	4	5	0	0	8	0	0	32
愛知	14	4	12	0	0	9	2	0	41
三重	10	3	8	0	0	0	0	1	22
滋賀	1	0	2	0	0	0	2	0	5
京都	2	5	6	0	0	8	1	1	23
大阪	31	6	29	0	0	18	9	3	96
兵庫	27	0	21	0	0	7	6	0	61
奈良	3	1	7	0	0	1	1	1	14
和歌山	4	2	4	0	0	9	1	0	20
鳥取	4	0	2	0	0	0	0	0	6
島根	1	0	2	0	0	0	0	0	3
岡山	10	1	4	1	1	4	3	0	24
広島	12	12	10	1	7	1	3	0	46
山口	2	1	1	0	0	1	2	0	7
徳島	12	0	8	0	0	0	1	0	21
香川	9	1	6	0	0	0	0	0	16
愛媛	2	0	4	0	0	0	0	0	6
高知	2	0	3	0	0	1	0	0	6
福岡	21	10	13	0	1	5	1	0	51
佐賀	8	0	1	0	0	3	0	0	12
長崎	4	0	1	0	0	0	3	0	8
熊本	2	1	7	0	0	0	2	0	12
大分	2	0	3	0	0	2	1	0	8
宮崎	3	1	3	0	0	0	0	0	7
鹿児島	11	0	1	0	0	0	3	0	15
沖縄	4	0	3	0	0	0	0	0	7
合計	382	78	272	3	10	93	56	10	904

特別研修指定研修会

- 1 東京医科歯科大学歯科同窓会 C. D. E. 「歯科衛生士が担う歯周基本治療の最前線」
- 2 東京医科歯科大学歯科同窓会 C. D. E. 「わかる！できる！PMT C」
- 3 東京医科歯科大学歯科同窓会 C. D. E. 「プロフェッショナルな歯科衛生士をめざして 基礎編」
- 4 クインテッセンス出版株式会社 World Young Dental Innovators' Meeting
- 5 広島大学歯学部 歯科衛生士教育研修センター
第1回公開セミナー「多職種連携による口腔健康管理と栄養サポート」
- 6 2020年度大阪歯科大学歯科衛生士研修センター公開セミナー
- 7 ウェルテック株式会社「デジタルハイジー～歯科衛生士に伝えたいライフステージに応じた対応～」

令和2年度 認定歯科衛生士登録者名簿

【認定分野A】生活習慣病予防(特定保健指導-食生活改善指導担当者研修)

会名	氏名
青森県	竹内 祐子
東京都	石塚 真理子
	三浦 啓江
長野県	米沢 ひとみ
	轟 麻友子
愛知県	山本 希代子

会名	氏名
大阪府	香田 文
京都府	家高 明美
兵庫県	登利 早苗
	堂田 あかり
	肥塚 美奈子
愛媛県	平岡 恭子

会名	氏名
香川県	細川 愛莉
福岡県	黒田 直美
佐賀県	田中 康栄
長崎県	小林 泰子
	北村 尊子
大分県	衛藤 恵美

【認定分野A】摂食嚥下リハビリテーション

会名	氏名
北海道	角田 裕子
	荒川 久悦
	涌井 絵里
青森県	相馬 美智子
宮城県	笠松 智恵美
福島県	鈴木 律絵
栃木県	和田 のり子
	加藤 望
	鈴木 由香
群馬県	近藤 直子
埼玉県	築井 雅美
千葉県	濱中 由美子
東京都	佐藤 伸子
	富岡 幸代
	小川 和恵
	渡辺 裕美

会名	氏名
東京都	與那覇 佳織
神奈川県	齊藤 理子
	一戸 千種
新潟県	石澤 尚子
富山県	安守 かおり
	石橋 幸子
	長久 聖子
石川県	宮森 奈津代
福井県	山口 幸子
岐阜県	原 るみ
静岡県	鈴木 明美
	金森 麻依子
愛知県	前田 佳代
	中山 智子
滋賀県	井上 幸子
京都府	谷内 妙子

会名	氏名
大阪府	西村 由貴子
	山木 美佳
	大西 静子
兵庫県	赤崎 直美
奈良県	西岡 孝代
和歌山県	米田 幸子
鳥取県	田村 香織
広島県	西村 瑠美
山口県	早野 泰枝
高知県	廣中 美智
福岡県	秋吉 知美
	甲斐 奈緒美
	相川 嘉津子
沖縄県	安慶名 つや子

【認定分野A】在宅療養指導・口腔機能管理

会名	氏名
北海道	馬場 めぐみ
青森県	阿保 ひとみ
	濱田 咲美
岩手県	日野口 尚子
	仲谷 加奈子
宮城県	戸田 康子
	赤道 友恵
栃木県	柿沼 さおり
	瀧本 悦子
群馬県	村上 裕美
埼玉県	金子 典子
	高橋 愛子

会名	氏名
埼玉県	八木 松代
千葉県	坂巻 真有美
東京都	松田 章子
	山崎 扶美
	丸山 千春
	杉村 陽子
	山本 綾
	相原 美香
神奈川県	小澤 千春
山梨県	宮下 由美子
長野県	麻和 和泉
	麻田 加代子

会名	氏名
新潟県	高橋 純子
静岡県	岡本 直子
三重県	丹羽 友美
	田辺 知加
愛知県	川田 佐代子
	近藤 まゆみ
香川県	谷川 紀子
香川県	干河 仁美
福岡県	増田 佳英
鹿児島県	郡山 さやか

【認定分野B】老年歯科

会名	氏名
東京都	松原 ちあき
	青柳 三千代
愛知県	山城 満喜子
福岡県	濱 芳央子
	柴田 佳苗
	松本 絵里加

【認定分野B】口腔保健管理

会名	氏名
岡山県	岩崎 美幸
福岡県	梶原 美恵子

【認定分野B】う蝕予防管理

会名	氏名
北海道	虎谷 斉子
神奈川県	片岡 あい子
新潟県	佐藤 治美
	元井 志保
徳島県	山口 由美子

【認定分野C】研修指導者・臨床実地指導者

会 名	氏 名
茨城県	中村 郁子
栃木県	堀越 悦代
東京都	池上 由美子
	茂木 美保
神奈川県	櫻井 里絵
長野県	高橋 絢
福井県	川端 登代美
愛知県	石本 多実
	松木 里沙
	松永 奈津希
滋賀県	石黒 幸枝
大阪府	細川 瞳

会 名	氏 名
大阪府	藤岡 恭子
	福池 久恵
	松井 貴美
	山下 政代
	頭山 高子
兵庫県	山内 千代
	高橋 千鶴
	松本 美紀
	清水 豊子
	岩崎 小百合
奈良県	下川 泰子
岡山県	茂木 香

会 名	氏 名
岡山県	中山 良子
広島県	矢野 加奈子
	三好 早苗
徳島県	武川 香織
	宮川 章代
	石川 真琴
香川県	石川 久子
	木戸 みどり
	成行 稔子
愛媛県	清家 洋美
	西村 真由美
福岡県	岡留 朝子

令和2年度「地域歯科衛生活動」助成事業

No.	都道府県名	事業名	実施日数	実施人数 参加者数	実施施設 (会場)数 対象施設数	従事者数			その他内訳
						歯科衛生士	歯科医師	その他	
1	北海道 歯科衛生士会	(1)母子歯科保健事業 子育て支援における口腔健康管理に関する啓発事業 新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント が中止になり、実施できず	-	-	-	-	-	-	
2	青森県 歯科衛生士会	(1)母子歯科保健事業 ・保育園、幼稚園の保護者に対する歯科 保健アン ケート調査事業 ・保育園児・保護者の歯科保健に関する 普及啓発 事業	2	795	4	7	1	-	
3	岩手県 歯科衛生士会	(8)多職種連携・協同による歯科口腔保健・口腔ケ ア推進事業 地域ケア会議における多職種連携推進研修事業	1	52	1	12	-	5	理学療法士、 作業療法士、 言語聴覚士、 管理栄養士、 薬剤師、
4	山形県 歯科衛生士会	(8)多職種連携・協同による歯科口腔保健・口腔ケ ア推進事業 医療介護連携センター圏内における多職種連携・ 協働による口腔ケア推進事業	5	122	3	29	-	-	
5	埼玉県 歯科衛生士会	(5)障害(児)者歯科保健事業 聴覚障がい者、ろう重複障がい者への口腔衛生指 導および口腔機能向上を目的とした支援事業(追 跡調査)	3	32	1	15	2	-	
6	新潟県 歯科衛生士会	(6)高齢者・要介護高齢者の歯科口腔保健 認知症高齢者への歯科衛生士介入による認知機 能低下予防プロジェクト	10	4	1	20	-	1	認知症上級ケ ア専門士
7	兵庫県 歯科衛生士会	(4)成人歯科保健 (6)高齢者・要介護高齢者の歯科口腔保健 元気100歳を目指した口腔健康寿命の延伸事業 ～人生の折り返し地点、50歳からのオーラルプレ イル予防～	4	201	2	4	-	-	
8	奈良県 歯科衛生士会	(6)高齢者・要介護高齢者の歯科口腔保健 高齢者の保健事業と介護予防の一体的 実施に 関する事業	21	42	21	41	-	1	作業療法士
9	和歌山県 歯科衛生士会	(4)成人歯科保健に関する事業 糖尿病患者への歯周病改善に向けた啓発事業	4	48	2	15	-	-	
10	徳島県 歯科衛生士会	(9)その他歯科口腔保健の推進に関する事業 徳島県における歯科衛生士の離職防止・復職支援 システムの構築	6	91	2	5	-	-	
11	福岡県 歯科衛生士会	(6)高齢者・要介護高齢者の歯科口腔保健 高齢者のオーラルフレイル予防事業	4	165	4	8	1	-	
計			60	1552	41	延べ156	延べ4	延べ7	

令和2年度日本歯科衛生士会会長表彰受賞者

功 勞 賞 *会員歴30年以上、役員歴が日本歯科衛生士会・都道府県歯科衛生士会を併せて10年以上ある者

高橋 光恵 (岩手県)	湊 みどり (岩手県)
遠藤 和子 (山形県)	鈴木 恵子 (福島県)
柴田 友子 (茨城県)	栗原 京子 (群馬県)
宮澤 真弓 (長野県)	村山 智子 (石川県)
西尾 宮子 (愛知県)	坂井田 千秋 (京都府)
吉本 美枝 (京都府)	岩城 一栄 (大阪府)
中村 みどり (島根県)	藤原 ゆみ (岡山県)
松尾 明美 (香川県)	岩切 恵子 (熊本県)
衣笠 由美 (大分県)	(17名)

永年精励賞 *会員歴35年以上であって、年齢65歳以上の者

石崎 由美子 (北海道)	恵波 和子 (北海道)
大塚 恭子 (北海道)	富樫 七苗 (北海道)
矢代 加代子 (北海道)	上ノ澤 久美子 (岩手県)
津田 和子 (宮城県)	川村 孝子 (秋田県)
菊地 うめ子 (福島県)	石井 秀子 (茨城県)
寺田 恵子 (茨城県)	柴野 圭子 (栃木県)
木暮 信子 (群馬県)	長岡 恵美子 (群馬県)
三須 智子 (埼玉県)	富永 範子 (千葉県)
平川 玉枝 (千葉県)	山中 由美子 (千葉県)
因 博美 (東京都)	市川 恵美子 (神奈川県)
浦田 芳子 (神奈川県)	森田 操 (神奈川県)
太田 昌子 (長野県)	大野 文代 (静岡県)
天野 祥子 (愛知県)	越知 幸子 (愛知県)
小出 晶子 (愛知県)	佐藤 厚子 (愛知県)
白山 由利子 (愛知県)	大橋 幸子 (三重県)
三宅 啓子 (滋賀県)	可知 陽子 (京都府)
北林 恵子 (京都府)	山本 弘美 (京都府)
上野 周子 (奈良県)	上牧 左右子 (大阪府)
島本 喜代子 (大阪府)	辻本 和子 (大阪府)
徳山 道枝 (大阪府)	平松 智子 (大阪府)
前田 加南子 (大阪府)	山下 政代 (大阪府)
山本 洋子 (大阪府)	高橋 千鶴 (兵庫県)
田中 悦子 (兵庫県)	杉山 珠美 (岡山県)
分島 加寿子 (岡山県)	井尻 由紀子 (広島県)
沖浦 久美子 (広島県)	高山 清子 (広島県)
門利 まり (広島県)	待井 陽子 (福岡県)
太田 廣子 (長崎県)	多田 啓子 (大分県)
	(54名)

令和3年度予算・制度等に関する要望について

公益社団法人 日本歯科衛生士会

(要 旨)

日本は急速に高齢化が進展するなか、2040年を展望し、「誰もがより長く元気に活躍できる社会の実現」を目指して、地域包括ケアシステムの構築が急がれるとともに、健康寿命の延伸が喫緊の課題となっております。そうした状況の下、「経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針2019)」、未来投資会議「成長戦略フォローアップ」、「脳卒中・循環器病対策基本法」、「糖尿病性腎症重症化予防プログラムの改訂」等々多くの国の施策の中で歯科保健医療の目指す方向性が共有されています。

一方、令和2年1月、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者が日本においても発生し、4月7日には緊急事態宣言が発せられました。今後、COVID-19の長期化が予測されるなか、無症状感染者への対応を含めた、歯科医療機関の感染防止対策が重要であり、歯科診療や口腔健康管理をいかに安全かつ安定的に継続して行けるかが大きな課題です。

そこで、日本歯科衛生士会におきましても、安全で安心な歯科保健医療提供体制の構築、さらには国民の健康寿命の延伸に貢献致したく、その実行・実現のために、以下の要望事項に対するご支援・ご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

(要 望 事 項)

1. 医科歯科連携推進のための歯科医師および歯科衛生士の病院への配置促進、歯科標榜のない医科病院と地域病院や歯科診療所との連携協力体制の充実
2. 地域包括ケアシステムを推進するための歯科衛生士の研修の評価と活用
3. COVID-19拡大に伴い、来院できない患者や在宅・施設療養者へのオンラインを活用した歯科保健指導の確立と有効性の検証および保険診療における評価
4. 「歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業」の継続と拡充

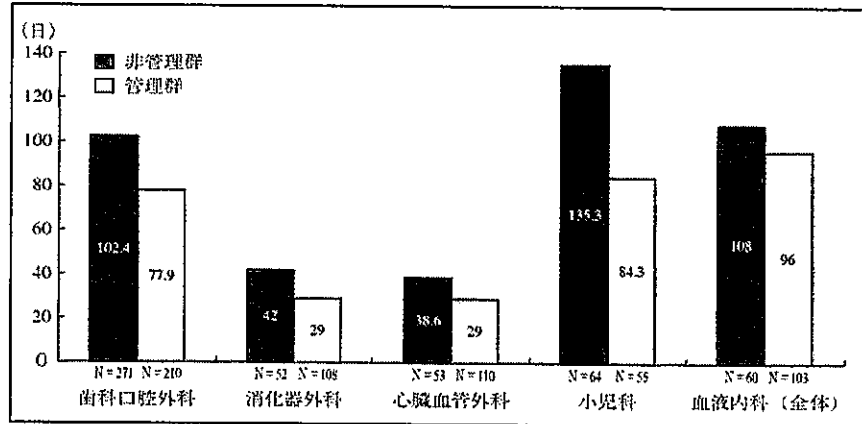
要望事項について

1. 医科歯科連携推進のための歯科医師および歯科衛生士の病院への配置促進、歯科標榜のない医科病院と地域病院や歯科診療所との連携協力体制の充実

地域包括ケアシステムにおける医療・介護の一体的提供体制の構築にともない、急性期医療から在宅医療・介護までの一連の流れの中で、シームレスな医科歯科連携および多職種連携が必要となってきました。

(1) 医科歯科連携の推進の必要性

近年、入院患者に対する口腔機能管理が在院日数を10%以上削減する効果があることが明らかとなっており(右図)、入院患者に対する口腔機能管理の必要性が増大しています。

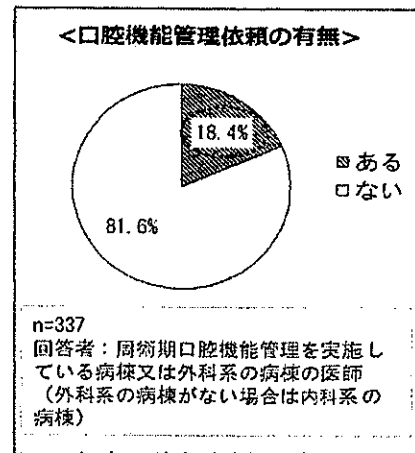


口腔機能管理による在院日数の削減効果(千葉大学医学部病院)

しかしながら、歯科を標榜している病院は約2割であり、多くの病院では歯科医師・歯科衛生士が配置されていないため、病院への歯科医療従事者の配置の推進、さらには周術期等口腔機能管理においては地域の歯科医療機関との連携協働が不可欠となっています。

(2) 医科歯科連携の現状と課題(要望)

H28年度の医科から歯科への口腔機能管理の依頼状況は18%です(右図、厚労省調査)。また、周術期口腔機能管理計画策定を行っている歯科医療機関は地域格差はありますが、約1~10%です(同調査)。さらに、医師は歯科医師に周術期口腔機能管理を依頼することで、「専門的な口腔衛生管理・口腔機能管理や口腔内の感染除去」等による術後合併症の減少を期待しています(同調査)。今後、医科の期待に対応できるような地域における連携協力体制の確立が急務です。



H28年度医科歯科連携の在り方に関する調査(保険局医療課)

これらの状況を踏まえ、下記の2点を要望します。

要望①：医科歯科連携推進のための歯科医師・歯科衛生士の病院への配置促進、歯科のない医科病院と地域歯科診療所との連携協力体制の充実

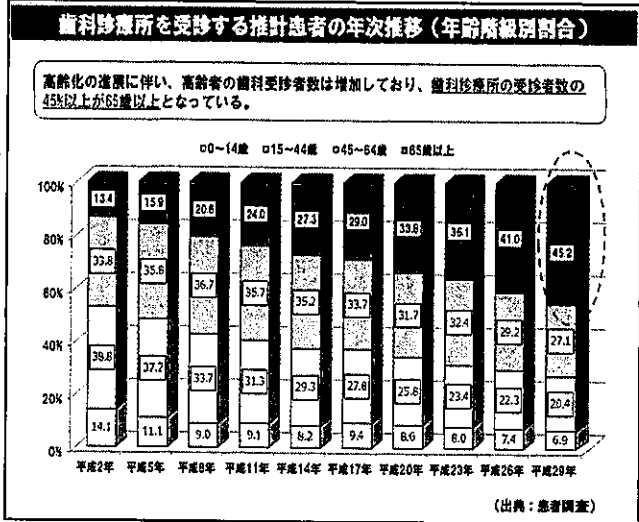
要望②：歯科のない医科病院と地域歯科診療所との連携協力体制確立のための歯科衛生士の本格的な育成と地域での活用促進

2. 地域包括ケアシステムを推進するための歯科衛生士の研修の評価と活用

(1) 地域包括ケアシステムを推進するための歯科保健医療提供体制の充実の必要性

地域包括ケアシステムの構築が進み、歯科医療提供体制も「診療所完結型」から「地域完結型」へと変化しています。一方、直近の患者調査(厚労省)においても歯科診療所の受診患者の45%以上が65歳以上の高齢者(右図)であり今後、歯科診療所においても全身管理や医科歯科連携の対応が必要です。

さらに歯科診療所に来院できない患者への医療機関と連携した訪問歯科診療提供体制の充実も喫緊の課題です。



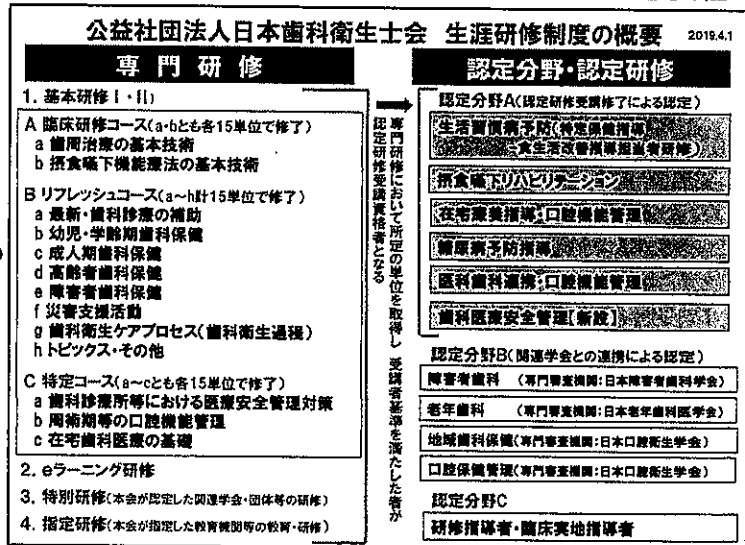
(2) 地域包括ケアシステムを推進するための歯科衛生士の研修の評価と活用の必要性

地域包括ケアシステムを推進するためには、そのための人材育成が必要であると考えます。そこで本会では、右図の専門研修プログラムを作成、30時間の受講を推進して来ましたが、これらの研修は義務化されていないため、研修修了者は全就業者の14%に留まっています。

さらに2008年に認定研修制度(右図)を開始しましたが、修了者は3,870名に留まっています。近年では、在宅療養支援歯科診療所等の施設基準に歯科衛生士の配置が要件の一つとなっており診療報酬上の加算がされておりますが、歯科衛生士に研修の受講要件は設定されていません。

今後、地域包括ケアシステムを推進し、地域で国民の歯科保健医療を充実するために活躍する歯科衛生士を育成するためには、新たな研修が必要であり、その施策と活用促進を要望します。

要望：地域包括ケアシステムを推進し、地域で国民の歯科保健医療を充実するために、歯科衛生士に新たな研修が必要であり、その研修に対する診療報酬上の評価と活用の促進



3. COVID-19 拡大に伴い、来院できない患者や在宅・施設療養者へのオンラインを活用した歯科保健指導の確立と有効性の検証および保険診療における評価

令和2年1月、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者が日本においても発生し、4月7日には緊急事態宣言が発せられました。今後、COVID-19の長期化が予測されるなか、無症状感染者への対応を含めた歯科医療機関の感染防止対策が重要であり、歯科診療や口腔健康管理をいかに安全かつ安定的に継続して行けるかが大きな課題です。

(1) COVID-19 拡大に伴う歯科医療機関の課題

COVID-19に係る緊急事態宣言の解除を踏まえ、新たな院内感染予防策のシステムが必要となり、日本歯科医学会連合より、「コロナ時代の新たな歯科システム」が提案されました(2020.5.29.)。さらに日本歯科医師会は、COVID-19への対応が求められる中であっても、国民の健康の保持・増進のため歯科疾患の予防や重症化予防の取り組みが重要として、歯科医療機関および関係団体に対し、「今後、歯科診療を実施する上での留意点」「歯科疾患の予防・重症化予防の取り組み」を示して、感染拡大防止策を適切に実施した上で歯科保健医療を提供するよう求めています。

今回のCOVID-19拡大で、働き方、生活、ヒト、地域社会等々が急速に大きく変わって来ています。また、患者の歯科への受診にも変化が見られ、定期健診の継続を躊躇するケースも増えて来ています。COVID-19への対応が長期化するなかで、歯周病等の重症化予防や定期健診の中断は、患者の全身状態にも影響を与える可能性があります。

今後、歯科衛生士会としてもかかりつけ歯科医としての役割を果たすべく、歯科衛生士も患者の口腔健康管理を継続できる診療所内外の施策の構築が必要です。



(2) 歯科訪問診療の課題

COVID-19への感染拡大の状況下、外からの訪問は感染リスクが高まることから、訪問休止を希望する在宅利用者や施設が増えています。このまま歯科訪問診療が行われない期間が長期化すれば、在宅・施設における療養者の口腔衛生や口腔機能が低下し、低栄養や誤嚥性肺炎等の入院リスクが増大する可能性があります。

この度、時限的特例的な取り扱いとして歯科医療においても初診における電話や情報通信機器を用いた診療が保険適用となりました。今後、COVID-19対策として、訪問ができない患者に対しても、口腔衛生や口腔機能の低下を防止するためのオンラインを活用した口腔健康管理や保健指導に対して保険適用されることが期待されています。これらの指導法や管理法の構築と有効性の検証が課題です。

これらの課題を踏まえ、下記の2点を要望いたします。

要望①：歯科医療機関におけるオンラインによる口腔健康管理や保健指導の保険適用に向けた指導法の確立と有効性の検証

要望②：在宅・施設における療養者へのオンラインによる口腔健康管理や保健指導に対する保険適用に向けた指導法の確立と有効性の検証

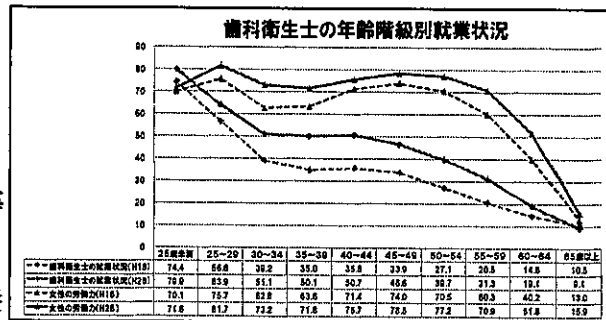
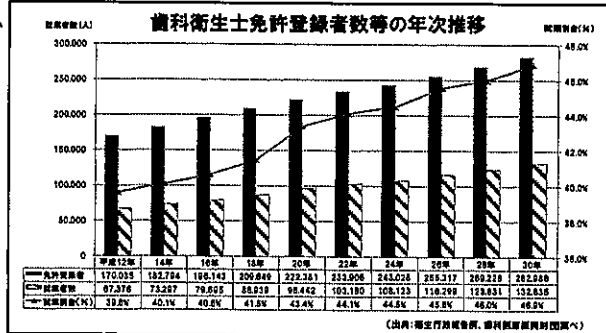
4. 「歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業」の継続と拡充

(1) 「歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業」の継続の必要性

日本の就業歯科衛生士数は132,635名、その90%以上が診療所勤務です。しかし免許登録者に対する就業者の割合は47%であり(右図)、診療所のみならず、地域包括ケアシステムを推進する上でも歯科衛生士の不足は喫緊の課題です。

歯科衛生士は学校卒業後の数年で30%が離職、さらに出産後に復職に結びついていません(右図)。

そこで、平成29年度より厚生労働省「歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業」の委託を受け、「指導者等育成のための講習会(本会)」、「歯科衛生士の技術修練設備等の整備(歯科衛生士養成校)」が実施されています。今までに全国4ブロックで実施、今後、全国6ブロックへの拡大に向け事業継続が必要です。



(2) 「歯科衛生士の技術修練設備等の整備」事業の対象者の拡大の必要性

現在、歯科衛生士養成校が実施している「歯科衛生士の技術修練設備等の整備」の対象者は新人歯科衛生士と復職歯科衛生士ですが、今後、地域の教育力・実践力を高め、地域における歯科衛生士の専門性を発揮するためには、「歯科衛生士の技術修練設備等の整備」の対象者を臨床実習施設の指導教員まで拡大することが必要です。

(3) 本事業の拡充として復職支援相談窓口や総合的な復職支援体制の構築

復職希望者には育児や介護等により長時間勤務が困難な者が多いため、仕事内容や働き方、勤務地・勤務時間等について相談できる窓口が必要であり、復職に向けてのきめ細かなアドバイスが受けられるよう、労務管理やマネジメントの知識を有する相談員の配置が求められます。また、離職者に対する研修案内等の情報提供により、離職中もつながりを継続し、潜在化を防止することが大切です。さらに、求人・求職情報等に関する有効なデータシステムの検討等の総合的な復職支援体制の整備が必要です。

上記(1)、(2)、(3)の課題・状況を踏まえ、下記3点を要望いたします。

要望①：「歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業」の継続

要望②：「歯科衛生士の技術修練設備等の整備」の対象者の拡大

要望③：復職支援相談窓口や総合的な復職支援体制の整備の支援

加入団体及び後援協力事業

加入団体

- ・ 公益財団法人 8020 推進財団
- ・ 一般社団法人 日本口腔衛生学会
- ・ 一般社団法人 日本公衆衛生学会
- ・ 日本歯科医療管理学会
- ・ 歯科保健医療国際協力協議会 (JAICOH)
- ・ 子どもの歯を守る会
- ・ NPO 法人 日本フッ化物むし歯予防協会
- ・ チーム医療推進協議会
- ・ 一般社団法人 日本歯学系学会協議会
- ・ 歯学系学会 社会保険委員会連合
- ・ ジョイント 4 実行委員会
- ・ 社会歯科学会
- ・ 一般社団法人 医療安全全国共同行動
- ・ 健康日本 21 推進全国連絡協議会
- ・ 公益財団法人 国際医療技術財団
- ・ 一般社団法人 国際歯科医療安全機構
- ・ 国際歯科衛生士連盟 (IFDH)

後援、協力事業

- ・ 令和 2 年度「医療安全推進週間」
 - ・ 公益財団法人 8020 推進財団 学術集会「第 18 回フォーラム 8020」
 - ・ 令和 2 年度 災害歯科保健医療体制研修会
 - ・ 第 78 回 全国小学生歯みがき大会
 - ・ 歯と口の健康週間
 - ・ 2021 ライオン健康セミナー
 - ・ その他の後援
- 公益法人 2 件 一般法人 8 件 大学 4 件 その他 10 件